

修士学位論文

チベット民族教育の文化伝承における民営教育の可能性と課題
－青海省西寧市西寧ガンジェン教育培訓学校を事例に－

頁数 1－70

2017 年 1 月 10 日提出

首都大学東京人文科学研究科 人間科学専攻

教育学分野:3 年

学籍番号: 14863103

氏名: 先吉卓瑪

指導教員: 荒井文昭 教授

目次	2
序章	3
第1節 研究動機と問題の所在	3
第2節 先行研究の検討及び用語解釈	6
第1章 中国における少数民族教育と文化伝承	7
第1節 中国教育の現状と課題	9
第2節 中国の少数民族教育の現状及び課題	11
第3節 中国の学校教育における文化伝承	15
第4節 チベット民族の教育と文化伝承	19
第2章 中国民営教育の変遷、現状及び課題	20
第1節 中国民営教育政策の変遷	22
第2節 中国民営教育と培訓教育の現状及び存在する問題	23
第3節 青海省の民営教育概況	25
第3章 西寧ガンジェン教育培訓学校の分析	26
第1節 多民族居住する青海省	29
1-1 青海省、西寧市の概況	
1-2 青海省のチベット民族教育の歴史の展開及び現状	
1-3 青海省の民営教育	
第2節 西寧ガンジェン教育培訓学校の概況	29
第3節 西寧ガンジェン教育培訓学校の教育課程、予算	43
3-1 2016年西寧ガンジェン教育培訓学校の教育課程	
3-2 2016年西寧ガンジェン教育培訓学校の予算	
3-3 西寧ガンジェン教育培訓学校の設立経過とその課題のインタビューについて	
3-4 西寧ガンジェン教育培訓学校の現状、役割に関する教師、生徒、保護者に対するインタビューについて	
終章	44
まとめ及び今後の課題	45
参考文献リスト	46
付録	79
謝辞	70

序章

第1節 研究動機と問題の所在

21 世紀、科学技術は自国の発展に関わる重要な部分になり、教育はそれを決める要素になりつつある。中国では 1980 年代鄧小平の“科学技術は第一生産力である”（科学技术是第一生产力）の思想から科学技術が重視され、教育への投資も年ごとに増加している。特に、1990 年代から“科教興国”は重要な国家戦略となっている。

中国は漢民族と 55 の少数民族から構成される多民族国家である。全国人口センサスによると（2010 年）、少数民族の総人口は 1 億 1 千万人あまりであり、総人口の 8.49%を占めている。地理的に見た場合、少数民族の居住する地域は全国土の 64%を占め、民族自治地方として 5 つの自治区、30 の自治州、116 の自治県がおかれている¹。「中華人民共和国教育法」、「中央民族学院設立試行方案」、「全国少数民族発展と改革指導綱要」などの法律においても、少数民族教育は中国の教育事業に欠くこともできない一部であると示している。この多民族国家である現状に適應するため、中国では少数民族教育政策が実施されている。中国にとって、少数民族教育は独立した教育ではなく、普通教育と共に中国の教育システムを構成しているのである。

各少数民族は漢族とは文字、言葉が異なり、科学技術のレベル、教育水準にも深刻な格差が存在している。現在中国の少数民族教育にはまだ様々な問題がある。中国の青海省に居住しているチベット民族を例としてみると、チベット民族の子供がチベット語で授業を受けられる民族学校は少なく、青海省の政治、経済の中心である西寧市には民族教育を受ける各段階の施設も整備されてない。特に 1990 年代に入ってから中国政府により市場経済化政策が少数民族政策にも持ち込まれ、少数民族学校同士では大量な合併が行われた。それがもともと弱い立場にある少数民族の教育事業を衰退させた²。これらの原因で西寧市の中では、子供を普通学校（漢語学校）に通わせられている家庭もあり、子供に民族教育を受けさせるために、小さい時から地方部の寄宿制学校に行かせる家庭も多くいる。そんな中で、近年チベット民族教育における新たな動向として「培訓学校」が現れてきた。本論では青海省教育厅が出された西寧市民営教育機関 99 校のリストにある、「西寧ガンジェン教育培訓学校」（漢語だと西寧剛堅教育培訓学校であり、チベット語の発音によってつけた学校名である）に注目した。「ガンジェン」はチベット語でチベット地域を意味し、チベット人は自分を「ガンジェンバ」とも呼ぶ。この学校はチベット人の個人により創られた教育機関であり、この「培訓学校」では主に民族語、民族文化が教えられ、そのほか漢語、英語も教えられていることが分かってきた。ここに通う子供たちは、平日は一般学校（漢語学校）に通い、休日はこの「培訓学校」に通っているのである。

本論文では、現在中国の教育格差問題、少数民族の文化伝承、民営教育などの背景整理を行ってから、中国の青海省西寧市におけるチベット民族の文化伝承を研究課題として、近年現れてきたこの「培訓学校」の動向に注目してみたい。同時にまた現場調査、インタビューの分析などを通じて、この動向が現れた原因、果たしている役割、問題点を明らかにし、今後中国のチベット民族教育における民営教育（培訓学校）の可能性について検討したい。

¹ 『中華人民共和国統計年鑑』中国統計出版社、2010 年。

² ハス額爾敦「中国少数民族地域の民族教育政策と民族教育の問題—内モンゴル自治区の民族教育を中心に—」名古屋大学『多元文化』第 5 号、2005 年。

第2節 先行文献及び用語解釈

1 先行文献検討

これまで少数民族教育に関する先行研究は、中国本土のみならず海外での研究も広がっている。中国国内においては主に中央民族大学をはじめとする民族系大学及び各省・市・自治区に設立されている社会科学院などの研究機関を中心に行われ、大きな成果が蓄積されてきている³。よく知られているのは全国レベルの学術雑誌『民族教育研究』、『中国藏学研究』、王鑑主編の『中国少数民族教育体系研究』⁴などがある。これらの研究は中国の民族政策の基本理念と政治動向、言語政策、少数民族学校教育に存在する問題などが多く扱われている。日本においては岡本雅享の『中国の少数民族と言語政策』⁵がよく知られている。そこでは、中国のチベット民族、モンゴル民族、イ族などのそれぞれの民族言語政策とその歴史的変遷についての研究が行われ、現在中国における漢語普及の現状について「今ほど漢語教育が少数民族の隅々に浸透させられた時代もなかった」ことが指摘されている。また、中国の言語政策を研究する小柳正司は「自民族言語と漢語のバイリンガルであるという民族教育政策は、学校教育における漢語の普及の有力手段となり、強力な同化政策の推進機能を担っていることになる」⁶とも指摘しており、ハスゲレルも『中国における少数民族教育の現状』⁷では、中国の少数民族教育政策を整理し、モンゴル民族の教育を研究対象として、教育現場の調査を通じて中国の少数民族教育のこのような問題点を指摘している。他方では中国少数民族の文化伝承については、金龍哲による学校のエデュケーションとカリキュラムなどを中心とする研究がある。中国国内で文化人類学がブームとなり、各少数民族の伝統的なお祭り文化、服装文化など各少数民族の伝統文化が重視され、各少数民族大学を中心に研究が行われている。

中国の民営教育についての研究に関しては、中国国内では、中国民営教育協会の中国民営教育研究院が中心となり、中国の民営教育の変遷、政策を整理した『中国民営教育』⁸がだされ、国内民営教育の年ごとの統計、その1年間の民営教育の重要な会議内容を記録する『中国民営教育発展報告』⁹が出版されている。近年の中国民営教育についての研究の動向を見ると、民営教育の管理、市場化、民営大学の発展が中心的なテーマとなっている。日本において中国民営教育に関する研究としては篠原清昭の研究が挙げられる。篠原は教育の市場化との視点から中国の民営教育政策の変遷を解釈し、中国民営教育の様式の全体像を解明している。また、市場化、民営化による少数民族教育の変容という点についても触れ、少数民族地域の教育の市場化、民営化による、民族文化やアイデンティティの形骸化、市場経済による民族文化自治の内部解体が扱われている¹⁰。そのほかに西山佐代子は、中国政府の1997年に発行していた民営教育政策「社会力量学校運営条例」の日本語訳を

³金龍哲「文字を持たない民族の文化伝承と学校教育母系社会を営む中国雲南省のモソ人の事例」神奈川県立保健福祉大学誌第5巻、第1号、2008年。

⁴王鑑主編『中国少数民族教育体系研究』民族出版社、2001年。

⁵岡本雅享『中国の少数民族教育と言語政策』（増補改定版）社会評論社、2008年。

⁶小柳正司、ハスゲレル「中国内モンゴル自治区における民族語教育の現況」鹿児島大学教育学部教育実践研究紀要、17：p101-107、2007年。

⁷ハスゲレル「中国モンゴル自治区におけるモンゴル民族教育の現状と課題ーバイリンガル教育と英語教育の導入に伴う変容を中心にー」首都大学東京博士学位論文、2013年。

⁸陶西平、王佐書主編『中国民営教育』教育科学出版社、2010年。

⁹陶西平、王佐書主編『中国民営教育』上海人民出版社、2010年。

¹⁰篠原清昭『中国における教育の市場化-学校民営化の実態』ミネルヴァ書房、2009年。

行っていた¹¹。

近年、中国の経済の発展や人口の移動などにより、少数民族の生活様式も変わりつつある、本論文の研究対象とする青海省西寧市のチベット民族は、基本的に地方部に居住し、遊牧生活をしていた。しかし、近年、政府の草原保護政策、経済の発展、出稼ぎなどにより、都市部に居住する人口は増えつつある。しかし、都市部に移動してきたチベット少数民族の子供たちは、市内では、チベット民族小学校、また、チベット語を学習できる学校がない難問を抱えている。このような状況を変えるため、個人により創られた「培训学校」が現れた。

本研究は、少数民族教育を受ける各段階の教育施設が整備されていないこのような地域において、民営教育の一つである培训学校が民族教育、文化伝承においてどんな役割を果たしているかのとの分析と今後への展望をすることを目的としている。

2 用語解釈

a、「民営教育」

「民営教育」は中国語の原語では「民办教育」と呼ばれている。「民営教育」の定義について 2003 年 9 月 1 日から実施し始めた「民営教育促進法」第 2 条では、「国家機関以外の社会組織或いは個人が非国家財政性経費を利用し、社会向けの学校及び教育機構の活動」と定義されている。文字から読み取れるように民営教育の主体は民・民間であり、「民営」ということによって教育事業におけるの国公立とはっきり区分けしているのである。

しかし、民営教育の主体は民・民間であるとは言え、民・民間が設立し、運営していると単純に分類することはできない。中国において、私立学校、私立教育という用語は日常会話ではよく使用されるが、国の公式法規、公文書では殆ど使われていない¹²。その代わりに「社会諸勢力営」との用語が多く使われている。篠原と夏立憲の研究によれば、民営教育の設置、運営から分類すると「民設民営」（民間が設立・運営する）の様式だけではなく、公設民営（国或いは地方政府が設立し、民間が運営する）、民設公助（民間が設立し、国或いは地方政府が資金、政策上では一定程度の補助、優遇をする）の様式も存在している。また、主体である民・民間とも個人のことだけではなく、社会団体、民主党派（共産党以外の 8 つの党派のことを指す）も含まれているのである¹³。だから、中国において民営教育は私立教育と同じではなく、民営教育は「私立」より幅広い意味を持っているのである¹⁴。なお、民営教育の中にも民営大学、独立学院、民営高等専門学校、民営中等専門学校、民営中小学校、民営幼稚園、民営培训学校など、七つの種類の教育機関が存在している。

中国において民営教育機関は「国家認証認可監督管理委員会」（国家认证认可监督管理監督）、（以下「国家認監委」を表記する）により統一的に管理されている。民営教育機関の設立の流れとして、①申請者が「国家認証認可監督管理委員会」に申請書と教育機関の資料を出す。②「国家認監委」は 2 ヶ月のうちに結果を出し、許可が取れた場合は、「国家認監委」により許可書を授与する。③申請者は「国家認監委」が許授した許可書により教育行政部門或いは工商行政管理の部門で登録するのである。本論文の事例校の場合は、西寧市認監委の許可をもらい、西寧市教育局、青海省教育厅、西寧市民政局、西寧市発展

¹¹西山佐代子「中国幼稚園経営体制計画」北学園大学経済論集、第 51 巻、第 2 号、2003 年。

¹²北京市社会諸勢力による学校運営の問題に関する研究課題組編、『関与北京市社会力量办学問題研究』1990 年が唯一の事例である。

¹³篠原清昭『中国における教育の市場化—学校民営化の実態—』ミネルヴァ書房 2009 年。

¹⁴ 夏立憲『中国における民営大学の発展と政府の政策』溪水社、2002 年、p19。

改革委員会に登録している。

b、「民営培训学校」

中国では民営培训学校は培訓機構とも呼ばれ、培训学校は民営教育の一部として位置付けられている。培训学校は、個人が職業訓練、受験指導または、興味を持つものを学ぶ教育専門機関である。培训学校は一般的には非学歴教育機関である。培训学校を大きく分類すると政府部門に属する事業機関・培訓センター、（この様式の培訓機関は国家の各部委員会また地方政府に所属する行政事業機構である）と中華人民共和国の公民である個人・社会团体により設立された培训学校および海外の研修機関から権限を受けられた培训学校（例：トーフル、アイエルツ）が存在している。

民営教育分野の管理において、市場に任せるとは言え、一方で中国の中央政府により統一管理されているとの矛盾が存在している。また、政府の許可を得た培训学校の学生には、国が認める資格証書が授与される。

本論文の研究対象であるガンジェン培训学校の場合は個人により設立、運営されている培训学校であり、チベット民族の文化に興味を持つ、または、事情によってチベット文化を学ぶことができなかった人々に民族文化を学ぶ機会を与える教育機関である。

第一章 中国における少数民族教育と文化伝承

本章では、近年中国で最も重要な課題とされている教育の格差問題、教育質の問題から中国教育の現状を描く。その上で中国の少数民族教育、少数民族文化伝承の現状の先行研究を踏まえてみたい。

第1節 中国教育の現状と課題。

中国は、1980年代以降の計画経済から市場経済への経済改革により、国の経済力や軍事力、国民の所得が大きく上昇し、国際的な地位も向上している。しかし、一方では都市部と農村部の「城郷差距」¹⁵は、依然として深刻な状態である。原因としては鄧小平の「先富論」¹⁶の「一部の人を先に豊かにさせよう」の理念に偏り、「先に豊かになったものと地域が豊かになっていないものと地域を助け、最終的に共に豊かになる」との「先富」から「共富」への調整がうまく行われず、効率一辺倒の改革政策が続けてきたのは一つの原因となっている。

地域経済格差の問題は中国が抱えている長年の問題である。しかし、近年この格差問題は経済の分野に止まらず、教育の分野にも影響し、教育の不公平問題、教育質の差異問題をもたらしめている。つまり、経済の格差は教育の格差をもたらし、教育の格差は社会、経済の格差を拡大するという「貧困の悪循環」に落ちているのである。

特に義務教育段階ではこの問題が著しく存在している。義務教育段階の格差を政策上から分析してみる場合、戸籍制度は重要な分析対象となる。戸籍制度は中国の商の時代からはじまり、建国初期からの新戸籍制度を初め、戸籍は「農村戸籍」と「非農村戸籍（都市戸籍）」に区別された。この戸籍制度によって、中国では農村と都市と言う二つの異なる社会構成、異なる社会的待遇を受けるという人為的な「二重社会構造」が定着した。これにより、経済格差はもとより、福祉や公共サービスなどの面においても大きな格差が設けられてきた。特に教育の格差が深刻である。蘇于君は中国での戸籍制度による教育の格差が主に、三つに分けている。「一つ目は、学校選択する時の費用の問題である。つまり、生徒は自分の戸籍地・現住地以外の学校に入学するには別の費用がかかる。同じ地区内においても、各学校の施設や教師などのレベルが違うため、別の費用がかかるにも関わらず、子供を学区外の学校に通わせようとする保護者が続出している。二つ目は、大学入試に関する戸籍問題である。中国の大学入試は省レベルで統一して行われるため、各地方により合格ラインの違いがある、大学は地元の学生に対して、他の地区より多くの入学定員を割りあっているなどの原因により、例えば北京のような重点大学が多く集まっている大都市は北京の戸籍保有者が優遇され、水準の低い農村部の学生が不利な立場に置かれている。三つ目は、都市部に住んでいる、出稼ぎ労働者の子女の就学難問題である。農村からの出稼ぎ労働者の子女は戸籍が原因で、都市部の学校で賛助金、正式の学籍をもらえないなどの様々な差別が存在している」¹⁷とまとめている。この政策は中国の人口移動管理においてそれなりの役割を果たしていた。しかし、教育の面から見るとこの制度は教育平等・公平を害しているデメリットの面が含まれていると考えられる。

近年、改革開放政策や経済の発展などの原因で人口の移動が激しくなり、戸籍制度によ

¹⁵「城郷差距」とは都市部と地方部の経済、教育、公共施設などの格差を指す。

¹⁶「先富論」というのは鄧小平が1985年に、「一部の人を先に豊かに指せよう」と問題提起し、社会主義の「悪平等」から脱却を目指した改革開放の基本理念の一つである。

¹⁷蘇于君「中国における農村教育発展とその課題」『鶴山論叢』第11号、2011年。

る管理が徐々に難しくなっている。中国政府は、2014 年 7 月、「戸籍制度改革を更に進める国務院の意見」（以下で、「国務院意見」とする）を発表し、戸籍制度改革の乗り出す意向を示した。「国務院意見」は、戸籍制度改革の目的が都市部の社会保障制度からこぼれおちた農民工の救済にあることを明示した。しかし、この意見の内容については都市部の内部の格差だけに注目し、農村部に存在する問題には触れておらず改革としては不十分であるという声もある。現在、中国政府も都市部と農村部の格差がもたらした教育の不平等問題を認識し、解決法を探っている。

教育の質の問題において、三浦有史が中国は義務教育の普及及び高等教育の大衆化において著しい成果を上げたものの、教育政策の重点が量の拡大に置かれていたため、質が置き去りにされてきており、「人材強国」に向けた基盤が整っているとはいえないと評価している¹⁸。このような現状の下で、2010 年中国政府は「国家中長期教育改革和発展规划纲要（2010－2020）」を公布した。この政策には「教育の質を上げるのは教育改革発展の核心任務である」ことが明記され、教育の質をあげるのは教育の改革発展の基礎であることが示されている。

教育の質を高めるには、国家の財政的支持と教師の質を向上させるのが最も肝心なところである。しかし、現在中国農村部、貧困地域においては、まだ、教員不足の問題が長年存在している。近年、ニュース、新聞でよく取り上げられている「超大班」¹⁹問題はまさに、財政、教員不足が原因で生み出された典型的な問題である。「超大班」により、教師は一人一人の生徒の状況を把握できず教育の効率性が低下することとなっている。日本では、義務教育の学齢児童に無償で提供され、各自治体は地域在住の学齢児童に義務教育を受ける機会を保障する役割を担っている。財政上も義務教育段階の学校における教師の給与を国家が 3 分の 1 を負担している。それとは違い、中国では義務教育段階の学校における教師の給与の半分以上は県レベルの財政が負担し、中央財政はわずかしき負担していない。2001 年国務院発展センターの農村部の教育支出に関する質問調査によれば、郷鎮財政が全国義務教育の総投入のうちの 78%を負担し、他の政府の負担については、県財政が 9%、省と市財政が 11%、そして中央財政が 2%となっている²⁰。そのため、巨額の義務教育費負担に耐え切れない貧困な地域では「民弁教師」²¹を雇い、また、生徒から各名目の費用を徴収されることにより、「民弁教師」の給料を払っている。現在中国政府はこのような「乱收費」問題は法律上では厳しく禁止しているが、それにもかかわらず貧困な地域ではこのような問題は依然として存在している。

現在の中国では、教育投資、特に基礎教育に対する投資が不足している問題が存在している。地域間の経済、文化などそれぞれ異なっており、また、義務教育における「地方責任・分級管理」という制度が実施されているため、地域間の経済力などの格差に伴う教育力の格差が出てくるのは当然である²²。今後中国の貧困地域の教育の質を上げるためには、

¹⁸三浦有史「中国は「人口大国」から「人材大国」へ変わるか」『環太平洋ビジネス情報 RIM 2008』Vol. 8 No. 28、2008 年。

¹⁹「超大班」とは、学校の一つクラスの中の生徒人数が法律上より定員オーバーしていることで。中国の農村部では財政、校舎、教師不足などの原因で一つのクラスに 90 人以上の生徒がいるという例も多い。

²⁰蘇于君前掲論文

²¹「民弁教師」とは、中国での正式名称は代課教師であり、正規教員が不足などの原因で臨時的に雇用する教師を指す。

²² 劉占富「中国における教員給与政策」東京大学大学院、教育研究科『教育行政学研究紀要』第 5 号 200

貧困地域の義務教育段階に対する投資を増加し、また、日本のようにへき地とそれ以外の教員の人事交流や新卒教員及び中堅教員のへき地への派遣、校長・教頭・指導主事への抜擢に当ってへき地校勤務の有無に対する考慮や、農村部・貧困地域の教師にはへき地手当を支給するなど、このような政策は優秀な教員を呼び集め教育格差を縮める一つのキープイントであると考えられる。

第2節 中国の少数民族教育の現状及び課題

中国の「中華人民共和国憲法」4条では、中国は56の民族によって構成された多民族国家であり、56の民族は一律平等であると宣言している²³。2010年全国人口センサスによると、少数民族の総人口は1億1千万人であり、全国人口の8.49%を占めている。地理的に見ると、少数民族が居住する地域は全国総面積の64%も占めている²⁴。しかし、様々な民族を一つの国にまとめるのも容易なことではない。中国政府が少数民族・少数民族地域の管理について、様々な政策を立ててきた。その中でも、1984年に発行された「中華人民共和国民族区域自治法」は少数民族に対するもっとも基本となる政策であるといえる。民族区域自治制度は少数民族が多く居住しているところを対象とし、自治権は民族自治地方（自治区、自治州、自治県）の人民政府が行使し、その前提は「中華人民共和国憲法」4条3項に示している「いずれの民族自治地方も中華人民共和国の切り離すことのできない一部である」であり、少数民族の教育もこの法律によって成り立っている。

中国国内ではよく「民族教育」・「少数民族教育」が同じように使われている。これは、中国において、民族教育は漢民族以外の55の少数民族に対して行われている教育であるとの認識があるからである。この定義について、中国国内でも様々な学説がある。その中でも三つの学説が最も有力である。一つ目は、少数民族言語を授業用語として使用している教育を民族教育であるとして、授業用語を重んじる説である。二つ目は、少数民族の学生に対する教育であれば民族教育であるとして、教育の対象が民族人口であることを重んじる説。三つ目は、少数民族地域での教育であれば、民族教育であるとして、民族地域を重んじる説である。これらの学説に基づいて「中国民族教育条例（初稿）」の2条では、「本条例にいう少数民族教育は、少数民族と民族地区の各級各類教育を含む」と定義付けられた²⁵。これにより、法律上、民族教育の対象、場所を明確にし、民族教育の形も各級各類であることが認められ、保障されている。

中国の少数民族教育は政府の政策、資金上の支援により普及し、多くの成果があげられてきた。しかし、現在の中国国内で最も深刻な問題である教育格差問題、教育質問題が少数民族の教育に大きな影響を与えている。全体的に見ると、現在中国の教育公平問題及び教育の質問題どちらにしても、沿海地区と辺遠地区、発展地域と貧困地域、都市部と農村部の問題であるのように見える。しかし、少数民族の視点から考えると中国の殆どの少数民族は歴史上から、辺遠地区、農村部のような貧困地域に居住しているのである。だから、以上のどちらの問題にしても、言え変えれば漢民族と少数民族の格差問題とも言える。

国、地域の経済発展レベルはその国、地域の教育への重視度で決められ、経済の発展程

6年。

²³ 『中華人民共和国憲法』4条1項「中華人民共和国の各民族は一律に平等である。」、52条「中華人民共和国の公民は、国家の統一及び全国各民族団結を擁護する義務がある」。

²⁴ 『中国統計年鑑』2010。

²⁵ 格日樂「中国民族教育における教育自治権について：民族教育の使用言語文字と教育内容に対する自治権を中心に」一橋大学『一橋法』5(3)、2006年。

度はまたその国、地域の教育に影響する。中国の少数民族地区の格差はまさにこのような悪循環の結果である。1978 年の改革開放の後、東部と西部の格差は深刻化し続けている。このような背景に立ち、政府は多くの資金を西部に投資され、2000 年「西部大開発」²⁶を実施した

しかし、現在西部には依然として資金不足などの問題が存在している。中で、最も不足しているのは人材、技術の問題である。義務教育を実施して 20 年も経ている中国において、少数民族の学歴はまだ全体的に低いレベルに留まっている。

表 1 5 つの少数民族人口で小学校、中学校、高校、大学の各段階の学歴を有する人口数と総人口における比率

	チベット民族	チワン民族	モンゴル民族	ウイグル民族	回民族
大学 (%)	18,315 (0.38%)	78,276 (0.52%)	91,960 (1.7%)	74,118 (0.98%)	119,613 (1.33%)
高校 (%)	81,366 (1.69%)	846,540 (5.65%)	544,479 (10.2%)	326,502 (4.34%)	739,688 (8.28%)
中学校 (%)	369,913 (7.72%)	5200,763 (34.7%)	1846,066 (34.7%)	1850,417 (24.6%)	2588,667 (28.9%)
小学校 (%)	1685,203 (35.1%)	6955,244 (46.4%)	1984,851 (37.7%)	3986,342 (55.0%)	3285,763 (36.7%)
順位	5	2	1	4	3

数字は各少数民族の人口を表す。() 内の数字は総人口における比率。順位は 5 つ民族間における学歴の高い順番を表す。

出典：ハス額爾敦の前掲論文、p272 より転載

今後、東部と西部の格差問題を解決するためには、教育格差の解決は最も重要な課題である。その他、教員問題を少数民族教育からすると、少数民族言語で授業を行われる教員の不足が一番肝心な問題であり、少数民族教育のレベルが低い原因でもあったと考えられる。特に、少数民族が集中している地域では、学生が漢語の聞き取りさえできない状態あるとも関わらず、漢語で各科目の授業を行われている。杉村美紀は青海省の黄南の実例で、「中国の西部地区の山間部では、日本の幼稚園に相当する小学校入学前の教育機関は整備されておらず、学校で漢語による教育を行うと言うのは、家庭における母語の環境から、小学校の段階で一挙に漢語の世界に飛び込むようになる」との状態を述べ、その際の少数民族の子供、保護者たちの不安は容易に察せられる」²⁷と評価している。民族語で授業できる教員が不足しているのである。

また、中国の少数民族教育の現状と課題において、以上の教育格差問題や教員問題（教育質量問題）以外に注目されているのは、少数民族教育における文化伝承の問題である。

²⁶ 「西部大開発」とは、東部沿海地域と西部内陸地域の地域格差を縮小し、西部の経済を発展させることを目標とするプロジェクトである。

²⁷ 杉村美紀「中国における教育格差の連鎖と重層化」『東洋文化研究』14, 2012 年。

この問題について次節で検討する。

第3節 中国の学校教育における文化伝承

1、今日学校教育における文化伝承の動き

蓄積された文化、経験を次世代に伝え、その文化、経験を継承、発展させることは、教育の最も原始的で普遍的な機能だとされている。とりわけ社会の発展、変革期において伝統文化の伝承を巡る教育のあり方が突出した課題として取り上げられることが多い²⁸。特に、21世紀に入ってから、中国では「中華民族の優秀な文化の伝承と発揚」を重要な課題とし、2011年の「学習指導要領」では伝統文化が学校教育の重要な柱の一つとして位置づけられていた。金龍哲によると、現在中国の小学校での「語文」（国語）の課程において杜甫や李白の詩など75篇、中学校で60篇の古典詩文の暗誦が定められている。また、2011年8月に教育部は書法を課程に新設する方針を発表し、2012年5月に「小中学校書法教育指導要領」を公布した²⁹。これらの政策と表2からも、中国は学校教育において文化伝承を重視しつつある動向が分かる。同様に、少数民族の人々にとっても民族教育は自分の文化を伝承する重要な役目を担っている。そのため、少数民族教育において双言語教育は民族教育の基本となる。中国における言語政策研究分野での専門家である滕星、王軍が双言語教育は民族問題の核心である民族言語・文字だけではなく、民族文化の伝承ルートとしての民族教育にも関わっている。また、中国の少数民族双言語教育研究とその実践は、中国民族の問題研究や民族工作実践の重要な一部分である³⁰と指摘している。

表2 義務教育段階で広く取り扱われている經典教材及び書法教育

	学年	教科書	注	書法	注
小学校	1	『弟子規』	他に、 『蒙学十三經』など	硬筆	基本的には「語文」の課程の一環として行われ、小学校3年生から6年生まで、週に一時間を設ける。ただし、「地方課程」に位置づけて行う裁量は有する。 例えば：湖北省武漢市武昌区の事例：全小学校では、書法の時間は毎日20分である。
	2	『三字經』			
	3	『千字文』			
	4	『声律啓蒙』			
	5	『論語・上』		毛筆	
		『論語・下』			
中学校	6	『孟子・上』			
		『孟子・下』			
	7	『孫子兵法』			
	8	『大学中庸』			
	9	『道德經・上』			
		『道德經・下』			

²⁸金龍哲「「伝承文化」の教育課程化の論理と課題－「書法課」の展開を手掛かりとして－」、『教育学研究紀要』58、2012年。

²⁹同上

³⁰滕星、王軍主編『20世紀中国少数民族与教育』民族出版社、2002年、p335。

出典：金龍哲「「伝承文化」の教育課程化の論理と課題－「書法課」の展開を手掛かりとして－」2012年より転載

2、民族文化伝承の担い手とする言語教育

(1) 中国の言語政策の変遷

中国において民族言語の使用、発展を認める最初の方針として、1949年9月の中華人民政治協商会議共同綱領の「すべての少数民族はいずれもその言語・文字を發展させ、その風俗・習慣と宗教・信仰を保持し、あるいは改革する自由」がある。そして、1950年に入ってから、「中華人民共和国憲法」の第4条では、1949年9月の中華人民政治協商会議共同綱領で定めた内容を重ねて声明し、「中華人民共和国義務教育法」第6条では、「学校教育において全国に通用する共通語の使用を広め、少数民族の生徒を受け入れる学校では、少数民族の言語・文字を教育言語として使用することが出来る」と定めた。1984年の「中華人民共和国民族区域自治法」37条では、「小中学校では、漢語の課程を設け、全国的に通用する共通語を広める」などが公布された。政策、法律上から見ると、中国は「中国は五十六の民族から構成される多民族国家」のもとで、少数民族に対して、「平等」、「自由」の政策を実施し、保障されている。しかし、他方、国家統合の重視と近代化により、共通語である漢語の普及も重要な課題とされ、学校教育での学習が義務づけられている³¹。現在の中国で共通語となっている普通語は、当初中国国民の中で多数を占める漢民族の中においても多くの方言が存在するため、設定されたものである。1956年に「普通語の普及に関する指示」が出され、「少数民族地区以外」の小学校や中学校において普通語の教育を行うことが表明された。しかし、1980年代から漢民族が対象だった普通語普及の政策が少数民族教育の中にも実施された。2007年の『全日制民族中小学漢語課程標準』では、小学校では、常用漢字1300から1800字、常用語3000から4000語の習得、初級中学校では、常用漢語2500から2800字、常用語5000から6000語の習得、更に高校では常用漢字2800から3000字、常用語7000から8000語とする学習の到達目標が定められている。母語の中に漢語を使う日本でも、小学校段階で習得すべき教育漢字は1006字なのに、中国の少数民族にとっては完全に別の言語である漢語の到達目標は遥かに上回っている。

そこで、近年共通語である漢語と民族言語の教学のアンバランスで、少数民族による反対の声も多く存在している。例えば、2010年10月24日に起こされた、中国青海省黄南チベット自治区でのチベット民族学生と教師たちによる抗議のデモ、あるいは、中国首都北京での中央民族大学の学生によるデモなどが香港のメディアを通じて世界に発信された。これらの事件の原因は「青海省中長期教育改革和發展規格綱要（2010-2020年）」により小学校の低学年段階から、民族語と英語の授業以外、すべての科目を共通語（漢語）によって行うことを求められたからであるとされている。このようなデモが起きたのは偶然なことではなく、自民族の文化、教育に対する不安と危機感が溜まっていることを示すものである。

中国の55の少数民族の中では、自民族の言語と文字を学校教育の中に使用しているの

³¹ハスゲレル「中国モンゴル自治区におけるモンゴル民族教育の現状と課題－バイリンガル教育と英語教育の導入に伴う変容を中心に－」首都大学東京博士学位論文、2013年、P81。

は十数であり、中で小学校・中学校・高等学校の各段階において授業言語文字として使われているのも、チベット語、モンゴル語、朝鮮語、ウイグル語だけである。各民族の文字普及の程度、学校教育の歴史有無など、現状は複雑である。民族学校における双語教育形式の分類は、一般的に、三つに分類している、一つ目は、保存的双語教育様式である。この様式は、漢語と民族語を両立させる教育である。細分するとまた三種類の方式に分け、①民族言語を教授言語とし、漢語は一つの科目として学習するタイプ②漢語を教授言語とし、民族語を一つの科目として学習するタイプ③両方同じく教授言語として使うタイプ。二つ目は過渡的双語教育様式で、主に、漢語を習得する環境がない少数民族の生徒を対象とし、小学校一・二年生のときは民族語を教授言語で、三・四年生から漢語を教授言語に変えるタイプである。三つ目は、便宜的双語教育様式である。この教育様式は保存的双語教育様式と過渡的双語教育様式両方含めており、少数民族教師の不足、保護者の要求に対応するのはこのタイプの教育が存在する原因と考えられる。

現在、中国政府は少数民族教育を発展させ、様々な双語教育方式を探っている。しかし、少数民族たちの現状への不満は依然として存在している。この状況について、これは、1950年代以来批判されてきた「民族教育杖論」と同様であるとの声がある。つまり、双語教育の名で実施されている民族言語教育の双語教育が、実際には漢語教育に移動する手段であるとの指摘である、日本においても庄司博史のように、中国において「双語教育」は「双語教育の二儀性」にあるとする論点もある³²。つまり、少数民族にとっての民族言語の教育を重視しながら、一方では国家統合と近代化のための漢語の普及を最優先としているとの二つの立場が存在しているとのことである。

(2) 民族教育における文化伝承

「中華民族の優秀な文化を伝承、発揚する」を背景として学校教育において、伝統的な授業科目の増設、カリキュラム再編などの動きがある。しかし、少数民族の教育内容を分析してみると、少数民族教育は少数民族の言語の教育であると扱う傾向が強い。これについて金龍哲は、中国は建国以後、「少数民族の教育＝「二言語教育」の構図が確定されるにつれ、少数民族の教育は、事実上、「民族の言語+共通語」という一種の方法論に矮小化されていることを指摘している。格日樂も「民族教育、特に「双語教育」において、重要なのは少数民族の言語文字だけではない。民族言語や文字使用さえしていれば、真の民族教育、「双語教育」になるわけでもない。民族教育の内容もまた民族教育の発展を左右する重要な部分である。しかし、民族教育においては、民族問題を纏わる政治状況及び少数民族自身の生活様式の変化などにより、民族教育の内容が各々の民族の歴史・文化・伝統・生活習慣から掛け離れた教育になりつつある」³³と民族教育に存在する問題を指摘してきた。このことは本章の4節に書かれているチベット民族学校のカリキュラム、授業科目からも説明できる。

このような少数民族学校における教育内容の民族文化離れに対して、中国政府は1980年代から中華人民共和国成立以後続けてきた全国統一の教育課程とする「一綱一本」教育課程を「一綱多本」の教育課程に変更した。つまり、全国統一の教育課程とする教育課程

³²庄司博史「中国少数民族言語政策の新局面—特に漢語普及とのかかわりにおいて—」『国立民族学博物館研究報告』、27巻4号、2003年。

³³格日樂 前掲論文、p1053。

を国家開発の教育課程、地方開発の教育課程と学校開発の教育段階の三段階教育課程に移行したのである。それで、国は小学校から高校までの基礎教育段階の教育課程について制度を定め、各省と民族自治区は、地方の現状にもとづいて国の教育課程の実施計画を前提とし、同時に、独自に自分の地域に適応する教育課程を開発する。それで、学校レベルの教育課程の場合は、所在地の社会、経済発展の状況に基づき、学校の伝統と学生のニーズに配慮した教育課程の開発が出来るようにした³⁴。確かに、この一つの政策で、少数民族の文化を伝承できるようになったとは言いがたい。しかし、この政策から中国政府が双語教育における、教育の内容を重視し始めた動向があるとのことが分かる。

表3 義務教育段階のカリキュラム

小学校						中学校			割合
一年	二年	三年	四年	五年	六年	七年	八年	九年	
品德と生活		品德と社会				思想品德	思想品德	思想品德	7-9%
						歴史と社会（或は歴史、地理）			3-4%
		科学	科学	科学	科学	科学（或は生物、物理、化学）			7-9%
語文	語文	語文	語文	語文	語文	語文	語文	語文	20-22%
数学	数学	数学	数学	数学	数学	数学	数学	数学	13-15%
体育	体育	体育	体育	体育	体育	体育と健康	体育と健康	体育と健康	10-11%
		外語	外語	外語	外語	外語	外語	外語	6-8%
芸術（或は音楽、美術）									9-11%
		総合実践活動							16-20%
地方或は学校が開発した課程									

出典：教育部「義務教育課程設置実験法案」2001年より転載

確かに、今日の現状を見ると少数民族が自民族地区の経済を発展させ、他の民族と文化芸術事業の交流する場合は、共通語である漢語を学ぶのは重要なことである。しかし、少数民族の人々にとって双語教育は少数民族としての個性を尊重させることであり、自民族を発展させる一つの手段でもあると考えられる。

今後如何に漢語の普及と少数民族の文化伝承を両立させる「和谐社会」（「共生社会論」）を作るのか、どの様な多文化教育を行うのかは中国の国家統一と発展に関わる重要な課題である。

第4節 チベット民族の教育と文化伝承

1 チベット民族の教育の展開

（1）チベット民族の伝統的な教育様式

チベット民族は「全民信教」（ほぼ全員が仏教を信仰すること）の民族であり、今日に

³⁴金龍哲「新しい教育課程モデルと民族文化の伝承—学校における文化の伝承は如何にして可能か—」、『アジア教育学会第9回大会』2014年。

においても、仏教の思想はチベット民族の生活の隅々に浸透している。チベット民族は七世紀に統一した王国を築いた以後、仏教は段々本土の宗教であるボン教を越え、全民信仰する第一宗教になった。チベット民族に統一した文字を制定した初期において、仏教の經典を主に翻訳し、普及させた影響もあると考えられる。この影響はチベット民族の教育においても同様である。二十世紀に至るまで、チベット教育の中心は寺院だった。全体的に見るとチベット教育システムには何種類の教育機関が存在していた。仏教寺院、私塾、官学と医学校である。中で、チベット民族教育において最も影響が大きかったのは仏教寺院である。

七世紀に、ソンツェン・カンボはチベット高原を統一し、それから「以佛治国」（仏教を以って国を管理する）の策略を定め、大昭寺と小昭寺を建てられた。この時期のチベットにはまだ神殿だけあって、僧侶はいなかったのも、仏教寺院、教育ともまだ言えないのである。ツィソンディツェンの時代になってから一連の措置を採り、チベット歴史上初の僧侶（七試人）と仏教寺院（サンイエ寺）が現れ、仏教の寺院教育もこの時期から始められた。チベット仏教の中にまた何種類の分派が存在している。

仏教教育の面において完備なシステムを備えているのは十五世紀から創立したゲルク派である。ゲルク派の中心となる寺院はラサのガンデン僧院、デボン僧院、セラ僧院とシガツェのタシルンポ僧院、青海省のグボン僧院、甘肅省のララン僧院であり、六大学問寺とも呼ばれる。ゲルク派のシステムでは、寺院の勉強組織と経済組織を分別し、僧侶も組織的な課程を教え、最初の識字、お経の暗記から専門知識の学習まで 20 の段階も設置しておる。1737 年、七世ダライラマが中国中央に出したデータによると、当時、ダライラマ所属の寺院は 3150、僧侶は 302,560 人で、バェチンラマ所属の寺院は 327、僧侶は 13,670 人がいる³⁵。もしゲルク派以外の教派を全部一緒にしてみればその数字は膨大である。これらの寺院は当時の宗教、政治、経済の中心であり、チベットの教育、文化伝承の中心でもあった。

（2）チベット民族の新式教育

チベット民族の新式の学校教育の探究についてチベット歴史上では、ダライラマ 13 世が第一人者である。彼は最新の科学技術を重視し、イギリス、日本、インドなどに留学生を送り、軍事や電気機械、電報などを学ばせ、また、チベット各地方で小学校を作り、身分を問わず学生を募集した。しかし、この新式学校教育の試みが当時の保守的勢力の反対によって、長く続けられず途中で失敗したのである。その後、歴史の展開でイギリス、清朝、中華民国政府などによって様々な新式教育が行われた。今日、チベット民族教育が形成されたのは、中華人民共和国が成立してからである。

1949 年中華人民共和国の成立以後、中国政府は「人民政府は各少数民族の人民大衆を援助し、それらの政治、経済、文化と教育の事業を発展させなければならない」と規定され³⁶、チベット民族の各段階の教育を整備させた。1951 年 3 月に昌都小学校を始めとして建てられ、1965 年の統計によると当時チベット自治区では、学校数は 1,822 カ所、学生数は 66,781 人、普通中学校 7 カ所、学生数 1,330 人である。また、学前教育も創設し、全区での保育園は 9 カ所で、学生数は 700 人余りであった³⁷。この時期はチベット教育の学校教育が普及する時期でもあった。1966 年から十年間、中国では文化大革命が起り、

³⁵ 周潤年『藏族教育』巴蜀書社、2013 年、p80。

³⁶ ハスゲレル「中国モンゴル自治区におけるモンゴル民族教育の現状と課題—バイリンガル教育と英語教育の導入に伴う変容を中心に—」首都大学東京博士学位論文、2013 年、p32。

³⁷ 周潤年『藏族教育』巴蜀書社、2013 年、p99。

この時期の中国では民族問題と階級問題を一緒にし、少数民族の文化、伝統、言語すべてを否定していた。チベット族の教育においても、学校のチベット語科目、教学内容を否定し、多くの大事な資料を焼却した。ところで、1977 年から文化大革命の終わりに伴い、中国政府は再び少数民族を重視し始めた。特に 1984 年に民族区域自治制度の実施により、少数民族教育が法律上で保障され、チベット民族の教育も復興してきた。また、同年「内陸学校」も作り始めた（この様式学校は、中国の内陸地域で主にチベット自治区の生徒を対象として、チベット学校を作るという新しい方式である）。「西藏工作座談会紀要」に、解放的な教育を行うため中国の内陸地域で「内地学級」を作る意見が出され、中央政府は「集中的と分散的な原則で、内陸地（省・市）でチベット学校を作り、チベット自治区をサポートできる民族人材を養成する。北京、蘭州、成都などの地域では集中的に作り、ほか各地域（省・市）は状況によって定員を決め、チベット自治から 10 歳から 12 歳の小学校卒業生を選抜し、主に専門技術を学ばせた。その中の優秀の生徒は高等大学まで行かせる」との政策を定めた³⁸。周潤年によると 1989 年に第一期の内陸学校の中学卒業生の中で 862 人の生徒が中等専門学校に入学し、300 人生徒が高校に進学していたのである。この政策は現在でも実施され、チベット自治区の人材養成、チベット民族の文化伝承において重要な一部分となっている。しかし、この政策についてまた、第 1 章で検討したとおり、岡本のように、現在チベット自治区ではチベット語で教えられる教師がいないのは一つの理由として多くの子供がこの「内地学級」に送られ、漢語による教育を受けられてきたからでもあるとの指摘も存在する。1990 年から、中国は改革開放が進展し、国力、経済などの面において世界中が注目するほど著しく発展してきた。しかし、一方では、環境汚染、経済、教育における沿海地域と内陸の格差、都市部と農村の格差、漢民族と少数民族の格差など、様々な問題が生じている（チベット民族教育の現状について二節と 3 章で検討する）。

2 チベット民族教育における文化伝承

中華人民共和国成立以後、各地域で少数民族学校が作られ、学校教育が普及していった。この影響でチベット民族の教育様式も以前の寺院を中心とする教育から学校を中心とした教育に移り、民族文化を伝承する重任も学校教育に移りつつある。第二章にも述べたように、日本の学習指導要領に準ずるものとして中国のカリキュラムの編成は「教学大綱」によって決められている。つまり、少数民族の学校教育における文化伝承がこの「教学大綱」によって左右されているのである。中国政府も「教学大綱」の作成を重視し、1980 年代から「一綱一本」の教育課程から「一綱多本」の教育課程に変わり、少数民族の文化を伝承を目的とする教育科目の設置とカリキュラム編成の自由度を高めた。しかし、一方教育課程の設置と時間割りなどを規定する「教育計画」は普通学校（漢族学校）と同じように規定されている。チベット民族学校のカリキュラムを見ると理系の化学、物理などはもちろん、

図 1・2 のように現在少数民族学校で使用している歴史のカリキュラムを見ると、内容には少数民族教育としての独特な面は見えず、普通学校の教育内容の直訳となっている。中国の歴史と言っても少数民族についての内容は殆ど載せてないのである。

図 1 中国高校二年生が使っている漢語とチベット語の歴史のカリキュラム

³⁸周潤年 同上。

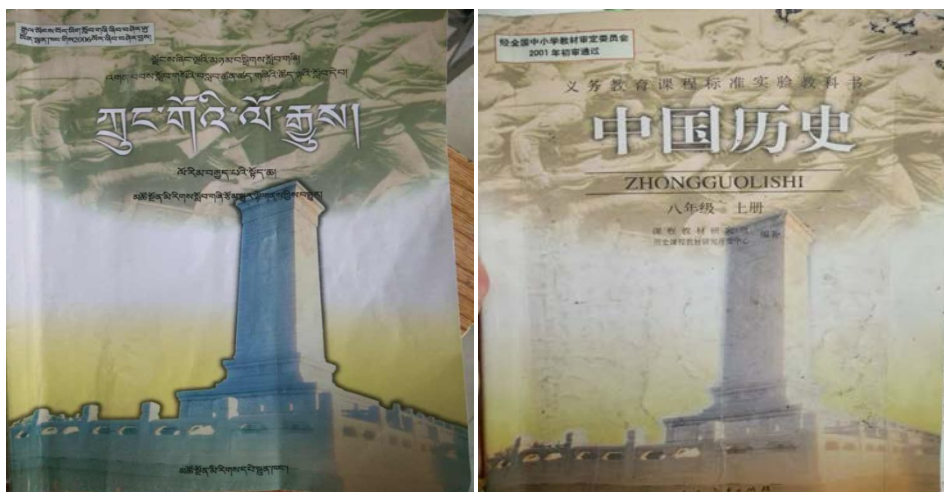


図2 漢語とチベット語の歴史のカリキュラム目次

目 录	
第一章 绪论	1
第一节 绪论	1
第二节 绪论	1
第三节 绪论	1
第四节 绪论	1
第五节 绪论	1
第六节 绪论	1
第七节 绪论	1
第八节 绪论	1
第九节 绪论	1
第十节 绪论	1
第十一章 绪论	1
第十二章 绪论	1
第十三章 绪论	1
第十四章 绪论	1
第十五章 绪论	1
第十六章 绪论	1
第十七章 绪论	1
第十八章 绪论	1
第十九章 绪论	1
第二十章 绪论	1
第二十一章 绪论	1
第二十二章 绪论	1
第二十三章 绪论	1
第二十四章 绪论	1
第二十五章 绪论	1
第二十六章 绪论	1
第二十七章 绪论	1
第二十八章 绪论	1
第二十九章 绪论	1
第三十章 绪论	1
第三十一章 绪论	1
第三十二章 绪论	1
第三十三章 绪论	1
第三十四章 绪论	1
第三十五章 绪论	1
第三十六章 绪论	1
第三十七章 绪论	1
第三十八章 绪论	1
第三十九章 绪论	1
第四十章 绪论	1
第四十一章 绪论	1
第四十二章 绪论	1
第四十三章 绪论	1
第四十四章 绪论	1
第四十五章 绪论	1
第四十六章 绪论	1
第四十七章 绪论	1
第四十八章 绪论	1
第四十九章 绪论	1
第五十章 绪论	1
第五十一章 绪论	1
第五十二章 绪论	1
第五十三章 绪论	1
第五十四章 绪论	1
第五十五章 绪论	1
第五十六章 绪论	1
第五十七章 绪论	1
第五十八章 绪论	1
第五十九章 绪论	1
第六十章 绪论	1
第六十一章 绪论	1
第六十二章 绪论	1
第六十三章 绪论	1
第六十四章 绪论	1
第六十五章 绪论	1
第六十六章 绪论	1
第六十七章 绪论	1
第六十八章 绪论	1
第六十九章 绪论	1
第七十章 绪论	1
第七十一章 绪论	1
第七十二章 绪论	1
第七十三章 绪论	1
第七十四章 绪论	1
第七十五章 绪论	1
第七十六章 绪论	1
第七十七章 绪论	1
第七十八章 绪论	1
第七十九章 绪论	1
第八十章 绪论	1
第八十一章 绪论	1
第八十二章 绪论	1
第八十三章 绪论	1
第八十四章 绪论	1
第八十五章 绪论	1
第八十六章 绪论	1
第八十七章 绪论	1
第八十八章 绪论	1
第八十九章 绪论	1
第九十章 绪论	1
第九十一章 绪论	1
第九十二章 绪论	1
第九十三章 绪论	1
第九十四章 绪论	1
第九十五章 绪论	1
第九十六章 绪论	1
第九十七章 绪论	1
第九十八章 绪论	1
第九十九章 绪论	1
第一百章 绪论	1

出典：図 1、図 2 は 2015 年帰国中論者が撮影

以下は目次の一部の内容：

第一单元 侵略与反抗（侵略と反抗）

第1課 鴉片戦争 (アヘン戦争)

第2课 第二次鸦片战争期间列强侵华罪行

(第二回アヘン戦争における資本主義強国らの罪)

第3课 收复新疆（新疆の回復）

第4课 甲午中日战争（日清戦争）

第5课 八国联军侵华战争（八か国連合軍の侵華戦争）

活动课一 模拟时事报道—侵略与反抗（討論：侵略と反抗について）

第二单元 近代化的探索（近代化の探求）

第6课 洋务运动（洋務運動）

第7课 戊戌变法（戊戌変法）

第8课 辛亥革命 (辛亥革命)

第9课 新文化运动（新文化運動）

第三单元 新民主主义的兴起（新民主主義の始まり）

第 10 課 五四爱国运动和中国共产党的成立（五四愛国運動と中国共産党の誕生）

第 11 課 北伐戦争（北伐戦争）

第 12 課 星星之火可以燎原（当時中国共産党の発展）

第 13 課 红军不怕远征难（中国共産党の長征）

確かに、金龍哲が指摘した中国雲南省の白沙小学校のような自分の民族の文化を学校教育の教育課程に入れるという例も存在する。金龍哲の論文で「展開された教育は、大きく分けて、①二言語教育、②トンパ文字の教育、③ナシ族伝統文化の教育、④トンパ美術教育、⑤白沙ナシ音楽の教育、⑥トンパ舞踊の教育の六つの領域から構成されている」と記している、しかし、教育内容としては少数民族の文字、美術と音楽に限られ、民族文化として内容はまだ不十分である。しかも、このような教育が行われているのは全国においても少数である。学校間の進学率の競争や経費の節約などの原因で、このような授業はただ学校の建前の科目であり、実際には行われていない場合が多く存在している。学生側においても、高校、大学などの受験競争で勝ち抜くため、受験科目である科目だけに集中する学生のほうが圧倒的に多い。また、中国の少数民族教育が共通に抱えている問題でもあるが、チベット教育においても自民族教育の基本とされている双語教育も漢語の普及と国際化やグローバル化による英語の普及、少数民族学校間の合併などの影響で、少数民族の間でも、子供の進学や就職の問題などを考え、普通学校（漢語学校）を選ぶ親が増加している。そのため、現在少数民族の教育には民族学校離れ、文化の喪失など様々な問題が存在している。一方、杉村美紀が指摘しているように実際は少数民族自身も、一方では母語教育の大切さを認識しながらも、教育機会そのものは、あくまでもよりよい就職や進学に役立つための手段として位置付けられるべきであると考えており、学校で学ぶ内容も、より豊かな生活の実現に結びつくものこそ価値があると考え³⁹、自民族の文化を大事にしながらも、漢語また英語などの学習もするという意識を持つ人が多数である。

そこで、近年チベット社会で自民族の学校教育、文化伝承などについて危機を感じ、民間では、民営教育システムの培訓学校を新しいルートとし、文化伝承の教育が行われている。（チベット民族教育における民営教育の動向について 3 章で検討する。）

³⁹ 杉村美紀 2012 年、前掲論文。

第二章 中国民営教育の変遷、現状及び課題

本章では、1970年代末に中国の民営教育が現れ始めて以来の政府による民営教育の政策、現状と本論文の対象となる培訓学校の現状及び存在する問題と今後の課題について述べる。

第1節 中国民営教育の変遷

中国において、民営教育の発展段階の分類は学者により多少の違いが存在する。しかし、一般的の分類だと以下のように分けられる。

1 回復段階（1978—1991）

1977年8月に中国共産党中央委員会が正式に10年間にもわたった文化大革命の終結宣言を出し、文化大革命時期に中止された大学受験制度を回復させ、知識人、教育を再び重視し始めた。中国の民営教育もこの時期から現れた。北京、上海など大きな都市部での大学受験補習を行う教育機関が、民営教育の始まりである⁴⁰。

1982年12月4日に修正された「中華人民共和国憲法」第19条では、「国家は、集体経済組織、国家企業事業組織とその他の社会力量が法律の規定に基づいて各種の教育機関を設置することを励ます」と規定した。この規定より、中国において始めて学校設置主体において、国家や地方政府以外の「社会力量」を認め、法的な位置を付けられたのである。

次に、民営教育の発展に発車をかけたのは、1985年5月27日に中央政府が公布した「教育体制改革に関する決定」（「關於教育体制改革的決定」）（以下「1985年決定」と略す）である。この「1985年決定」では、「企事業機関、業務部門の積極性を引き出し、個人、集団及び他の社会力量の学校設置を励ます」と規定していた。この政策により、政府側は民間の教育資源の潜在力を掘り起こし、教育における政府の役割を軽減した。また、社会側において多様な教育ニーズに応じられるようになったのである⁴¹。さらに、1987年7月に国家教育委員会が「社会力量学校運営に関する暫行規定」（「關於社会力量学校運営的暫行規定」）を正式に通達した。この規定より、これまであいまいだった「社会力量」は、「法人資格を持つ国家企業事業組織、民主党派、人民団体、集体経済組織、社会团体、學術組織及び国家の批准を得た私人の学校設置者」と定義された。

この時期から、中国において長く続けてきた国家は教育の唯一の投資主体であり、受益者である従来型の教育ガバメントから、国以外の個人、社会团体が教育投資主体として参入することを奨励し、民営教育を公教育との「共同発展」するものとしたのである⁴²。この時期の民営教育は主に、職業訓練、受験指導を行う培訓機関（非學歷教育機関）が中心となっていた。

2 探求段階（1992—1996）

鄧小平の「南巡講話」と中国共産党中央委員会第十四回人民代表大会を契機に、民営教育は未来を探求する新しい時期を迎えた。

1992年当時中国最高指導者である鄧小平が1月から2月にかけて「南巡講話」を行った。「南巡講話」では、経済体制を従来の計画経済から市場経済への移行を宣言し、教育

⁴⁰ 陶西平、王佐書主編『中国民営教育』教育科学出版社、2010年、p 29。

⁴¹ 朱源星 「対高收費民営学校的思考」『探求』、1996年、p5。

⁴² 篠原清昭『中国における教育の市場化—学校民営化の実態—』ミネルヴァ書房、2009年、pp15—16。

分野においても計画経済の教育体制から市場経済の教育体制への移行も求められた⁴³。1992年10月に開いた中国共産党中央委員会第十四回人民代表大会ではこの教育理念を引き続き、「多様なルート、様式の集資による民間の学校設置を鼓励し、教育を国が包括的に設置することを変更する」（「鼓励多渠道、多形式社会集資办学和民間办学、改变国家包办教育的做法」）との方針が打ち出された。この方針を1993年2月13日に中央政府が「教育改革和发展纲要」（以下「1993年纲要」と略す）を公布した。「1993年纲要」では、「政府の包括的な学校運営の局面を改变し、政府による学校運営体制を主体としつつも、社会各界の共同による学校運営体制を確立する」と明文で公布し、民営教育を支持する「十六字方針」（「積極鼓励、大力支持、正确引导、加强管理」）を定めた。これらの政策により、中国において民営教育のブームが起これ、特に民営大学が著しく発展した。

1992年から、民営教育が非学歴教育に止まらず学歴教育の領域に進んでいった⁴⁴。特に1993年の「民営高等学校設置暫行規定」を公布されたことにより民営高等教育を発展させる規範と可能性を示したのである。

一方、民営教育の著しい発展に伴い、民営教育の質の問題、公益性についての問題など、様々な問題がでてきた。これらの問題が浮かんできたことにより政府側、設置者側についての規範を再明確化する必要性が出てきたのである。

3、規範段階（1997－2001）

民営教育の急速な発展により、民営教育を規定する法律、法規の必要が差し迫ってきた。1997年7月に中華人民共和国国務院により「社会力量学校運営条例」が公布された。この条例は、「1993年纲要」の民営教育に対する「十六字方針」の理念に基づき、民営教育の設置、管理について具体的に規定し、民営教育にとっては初めての行政法規である⁴⁵。1999年中華人民共和国国務院が、教育部の「21世紀に向けての教育振興行動計画」（「面向21世紀教育振興行動計画」以下「21世紀計画」と略す）を批准した。この「21世紀計画」では、「今後、3－5年の間で政府による学校の設置を基本としながら、社会各界を共同に参加させ、公教育と民営教育を共同発展の設置体制を形成させる」と規定された。そして、同年6月中華人民共和国中央委員会、国務院が公布した「関与深化教育改革、前面推進素質教育的決定」では、「国の学校設置に関する法律、法規と一致していれば、大胆に実験することを許可する」ことが定められていた。篠原は、1986年6月の第五回全国人民代表大会の時期から、中国の民営教育は従来の公教育の「補充」から「共通発展」のパートナーに転換したと評価している。この段階になって、民営教育は、公教育から認められ、一定程度の自由を持つようになったと考えられる。

4、立法段階（2002以後）

2002年10月12日に開かれた「第九回全国人民代表大会常務委員会第31回会議」では、民営教育に対して「中華人民共和国民営教育促進法」が制定された。この法律は上位法の性質を持ち、第5条では「民営学校と公立学校が法律上同等の地位である」と定められ、また、民営教育の「営利性」が初めて認められた。この法律の公布により、民営教育は公

⁴³ 呉福光「市場機制下教育的產業性与教育機會均等」『教育專刊』、2000年、p4。

⁴⁴ 陶西平&王佐書主編 前掲書 p29。

⁴⁵ 篠原清昭 前掲書 p21。

教育と同じく中華人民共和国の教育事業の正式な一部になり、公教育と同じ「地位」に立つパートナーになったと言えるのである。2004 年の 4 月 1 日に「民営教育促進法実施条例」（以下「実施条例」と略す）が実施された。「実施条例」では、「中華人民共和国民営教育促進法」の規定を更に具体化し、民営教育における「合理回報」、「所有権」などについて詳細に規定したものである。一方、「実施条例」は「中華人民共和国民営教育促進法」と「不一致」であるとの論点も存在している。篠原は「「実施条例」による学校の民営化の規定は、中国における行き過ぎた教育の市場化や学校の民営化の弊害を是正する効果を持つ。また、教育政策全体に置いても地方先行の市場中心主義から国家統治主義に転換し、地方が中央の指示により教育の市場化の抑制を進めている」⁴⁶と評価している。

この趨勢に応じて、2015 年 1 月 7 日中国の國務院常務會議では、「教育法」、「高等教育法」、「民営教育促進法」などにおいて修正草案を作り、全国人民代表大会の常務会に提出し審議を求めた⁴⁷。「民営教育促進法修正案（草案）」は民営学校の設立についての制限を弱めようとするものであった⁴⁸。この修正草案は 2015 年 12 月 26 日の「教育法律一括修正案（草案）」二回目審議会で、“審議の結果は不一致”との理由で通らなかった。しかし、この動向から、中国において民営教育はもう無視できない存在になっていると察することができる。

今回の修正草案の“審議の結果は不一致”との焦点は、「分類管理（どうやって分類、管理するのか、現在の民営学校をどうやって過渡するのかについて）」と「資本化と教育の関係（社会資本を教育分野に持ち込むことによる、教育の位置づけ変容）」についてであった。「中華人民共和国民営教育促進法」と「民営教育促進法修正案（草案）」の修正部分について、本論の末篇に添付してある。

第 2 節 中国民営教育と培訓教育の現状及び存在する問題

中国の民営教育は 1970 年代の復活から様々な道を探究し、40 年も経つ現在は民営大学、独立学院、民営高等職業学校、民営中等職業学校、民営中小学校、民営幼稚園と民営培訓機関が含まれ、一定程度の体系化ができています。

陶西平らは民営教育の発展を次のように評価している。すなわち、民営教育の発展は教育費用を国により統一支給する公立教育の一元的な様式を変え、大量の教育経費を集めることにつながった。法律の面においてみれば、民営教育の発展が、今までの政府による干渉管理を法律による管理に変更させた。社会側にとってみれば、民営教育は社会のニーズに応じて多様な専門、教育課程を設置しており、人々の教育を選ぶ機会を与えた。また、これにより教育の分野にも競争原理を導入し、民営教育の間だけではなく公教育にも影響し、もっといい教育を提供することを促している⁴⁹と述べている。しかし、一方、中国において民営教育は社会組織（個人・団体）の一部でありながらも、国、政府により統一的な管理をする一部でもある（私教育においても教育と政治は連携している）。政府から認めている正式な社会団体は国の政策、方針に従うとの義務を果たすことにより、国、政府は社会組織にその権利を与えるのである。

これは、以下の本論文の対象となる西寧ガンジェン教育培訓学校に保存している青海省民政庁⁵⁰から西寧市の各社会組織に発生られた公文書『我が省の社会組織が積極的に慈善

⁴⁶篠原清昭 前掲書 pp28－29。

⁴⁷ 中国國務院法制部 www.chinalaw.gov.cn 2016 年 6 月 23 日閲覧。

⁴⁸ 中国教育部網 www.moe.edu.cn 2016 年 6 月 23 日閲覧。

⁴⁹陶西平、王佐書主編 前掲書 p36。

⁵⁰ 「民政庁」とは、政府の社会行政部門である。主に、避難支援、都市部に在住している農民の最低生

法の学習と宣伝を行うことについての通知』⁵¹からも擦ることができる。

また、現在の中国の民営教育の存在する問題について、陶西平らは政府側において、民営教育についての法規定などは明確ではない。例えば、民営学校の法人の性質を見ると、現在の法規定からすると「民営非企業機関」である。しかし、実際の管理では企業法人、または非営利法人として取り扱われている。それで、民営学校は税收、融資また非営利的な教育研究、経営活動などを行うとき国公立の学校と同じ優遇政策を受けることができないなどの問題が存在している。民営学校側において、政策では法人について明確でないため、理事会のメンバーは「家族化」が多く、実際は理事長独断専行であり、学問と運営が混同している問題が存在している⁵²と評価している。

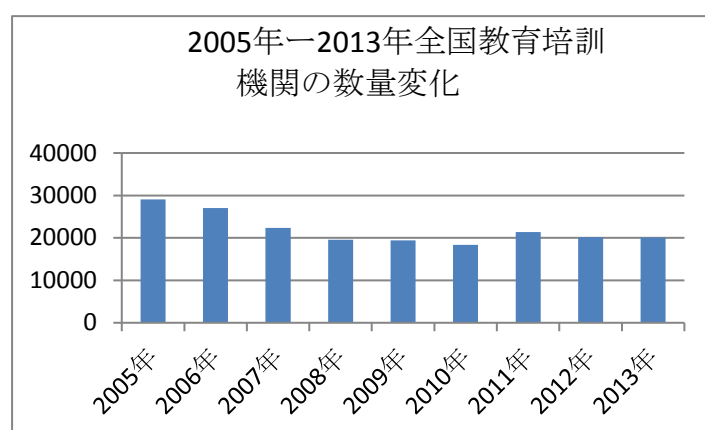
だから、今後民営教育を健康的に発展させるため、国として、行政面において民営教育の法規定、管理を明確にし、学問において、学問の自由を保障する。また、民営学校自身は、「理事長独断専行」のような行為を防ぐため、学問管理を経営管理を分離するシステムが必要であると考えられる。

本論文の研究対象である培訓機関は 1980 年代末から始まり、改革開放後の留学ブーム、大学受験補修、中小学年級の補修などの市場ニーズにより、教育培訓業は速いスピードで発展し続けてきた。

しかし、中国国内では教育培訓機関の信用度が低く、中国消費者協会のデータによると 2011 年に受けたクレーム件数は 1598 件であったが、2013 年になると 2554 件にまで増大しており、多くのクレームは教育培訓機関の拡大の宣伝、不正な収費、低下な教育質量についてである⁵³。この原因は現在多くの教育培訓機関は教育の質を高めることよりも、学校の規模を大きくすることを重視することと関連していると考えられる。

また、現在中国は素質教育とはいえ、応試教育の試験競争はまだ激しい状態である。そこで多くの中小教育培訓学校は主に学生の成績を高めることを重視している。そのため、メディアから「教育培訓機関は応試教育の触媒である（催化剤）」と評価されている現状でもある。

表 4 2005 年から 2013 年までの全国教育培訓機関の数量変化



出典：2005-2009 と 2010-2013 年の「全国教育事業発展統計公報」より筆者が作成

活保障、社会福祉と民間組織の管理をする部門である。

⁵¹ 『我が省の社会組織が積極的に慈善法の学習と宣伝を行うことについての通知』とは民政庁から西寧市の各社会組織に発生られた公文書であり、全文は本論の最後に添付している

⁵² 陶西平 王佐書主編 前掲書 pp33－36。

⁵³ 中国消費者協会網 www.cca.org.cn 2016 年 6 月 23 日閲覧。

第3節 青海省の民営教育

北京、上海など大都市部の民営教育の普及、急速発展と違い、青海省において民営教育は2000年以後から発展し、政府から重視し始めたのである。それは、青海省において民営教育に対する最初の正式文書は2009年11月24日青海省人民政府弁事室の許可を取り、青海省教育局が公布した「関与促進民営教育發展的意見」（以下で「2009年意見」と略す）であるからである。もちろん、2000年以前も民営教育が存在しているとは考えられるが、公教育が圧倒的多数である。「2009年意見」には第一部で「民営教育は社会主義教育事業の一部で、公教育と同じ法律的な地位と学校設置の権利をもつ重要な社会的事業である。」と示している⁵⁴。また、第三部では「非義務教育段階の教育を發展させ、教育事業においての民営教育の比重を高め、政府設置が主体で社会各界共同参与する……社会から教育に対する多元化的な需要に応じる。」⁵⁵という民営教育今後の目標を立てている。この「関与促進民営教育發展的意見」は当日青海省人民政府網に公布し、各県に伝達したのである。

青海省の民営教育が遅れている理由を分析すると、經濟發展のレベルが沿海地域より低く、少数民族が多く居住している地域では伝統的な思想、生活形態の影響が根強く残っており、公教育の普及さえ難しい状態であるのが民営教育の普及と發展を制約していたと考えられる。青海省の民営教育においても、省都である西寧市が中心となっている。西寧の教育を健康的に發展させるため、2012年11月27日の西寧市人民政府第12回常務委員會議では「西寧市民営教育機関設置管理弁法」を通し、2013年2月1日から実施された。「西寧市民営教育機関設置管理弁法」では、民営教育の申請、設置基準から監督管理、法律責任までの基準を定めていた。2015年7月14日に西寧教育網に西寧市の民営教育機関リストが出された。リストによると（原語：西宁市民办教育机构名单公示）、現在西寧市には政府の許可を得ている民営教育機関は99校に達している。この中に学歴機関は10校、培訓機関は89校である（本論の末篇に添付してある）。

2016年6月16日に西寧市人民政府網から「西寧市民営教育機関設置管理弁法(修正案)」についての公開意見募集が行い、2016年9月1日から実施する予定とされている。「西寧市民営教育機関設置管理弁法(修正案)」が2012年の「西寧市民営教育機関設置管理弁法」の内容をさらに具体化した。また、西寧市の民営教育の現状により新しい内容も補充している。

表5 2012年「西寧市民営教育機関設置管理弁法」と2016年「西寧市民営教育機関設置管理弁法（修正案）」目次

2012年「西寧市民営教育機関設置管理弁法」	2016年「西寧市民営教育機関設置管理弁法」（修正案）」
第一章 総則	第一章 総則
第二章 申請与審査	第二章 申請与審査
第三章 設置標準	第三章 設置標準
第四章 変更与終止	第四章 教育教学管理
第五章 監督管理	第五章 変更与終止
第六章 法律責任	第六章 監督管理

⁵⁴青海省人民政府網 <http://xxgk.qh.gov.cn> 2016年7月12日閲覧。

⁵⁵ 同上。

第七章 付則	第七章 法律責任
	第八章 付則

出典：西寧市人民政府網 www.xining.gov.cn 2016 年 7 月 26 日閲覧

変更内容は、第一章総則の第 2 条に「全面的に国の民営教育についての「十六字方針」（「積極鼓勵、大力支持、正確引導、依法管理」）をもとにして、民営教育を規範し、民営学校また受教育者の合法的な権利を擁護し、民営教育事業を健康、秩序的に發展させる」と補充している。第二章の申請与審査の部分において、第 7 条では、民営教育機関設立当時の財政基準を学歴機関は 150 万元以上、民営非学歴機関は 20 万元以上と明白にしている。また、現在民営教育業に存在している不実な生徒募集コマーシャル、許可証なしでの運営などを防止するため 2016 年「西寧市民営教育機関設置管理弁法（修正案）」では、教育教学管理という新しい章が作られている。特に、今回の「西寧市民営教育機関設置管理弁法（修正案）」では、青海省の多民族が共存する現状から、第一章総則の第 4 条では、「国家通用原語文字が学校及びほかの教育機構の教学原語文字にし、場合によって、国家の通用言語文字と自民族或いは当地民族の通用言語文字を使用する二言語による教育を行う」との新しい内容を補充している。今回の「西寧市民営教育機関設置管理弁法（修正案）」を全体的にみると、民営教育機関の設置条件を明確化し、民営期間の不正行為を防止するのが重点である。

現在、青海省の民営教育はまだ發展初期であり、中国の沿海發展地域とは大きな格差が存在している。しかし、近年速いスピードで成長しており、政府からも重視されつつある。今後青海省の民営教育の動向について注目する必要があると考える。

第三章 西寧ガンジェン教育培訓学校の分析

本章では、青海省西寧市において、民族文化の伝承や民族教育システムが不整備な現状から、チベット民族自らの民族文化伝承と多民族文化の学習を目的とするために建てられた西寧ガンジェン教育培訓学校に注目し、この培訓学校での現場調査、インタビューの分析、整理を踏まえて、チベット民族教育と文化伝承の全体図、問題点と今後の課題を明らかにする。

第1節 青海省の概況

1 多民族居住の青海省、西寧市の概況

図3 青海省の地理的位置



出典：中国地表網 <http://www.map168.com.cn>

2016年6月21日閲覧

事例校の西寧ガンジェン教育培訓学校は青海省、西寧市にある。事例校の分析をする前に青海省、特に、西寧市の人文、地理、経済または少数民族教育の現状などを簡単に整理したい。

青海省(せいかいしょう)は、中国西北地区の中南に位置する青海チベット高原にあり、中国の二大大河である長江と黄河はともにここを発する。東と北は甘肅省と接し、西南部はチベット自治区につながる。東南部は四川省と接し、北西部は新疆ウイグル自治区と隣接している。面積は72,12万 km^2 で、中国では新疆ウイグル自治区、チベット自治区、モンゴル自治区について第4位の広さの省である⁵⁶。青海省は1928年に成立し、中国で「青」と略称され、チベット語でཁེ་མེན་ཁོང་ཁོང་と書き、チベット語で「青い海」を意味する。省内には中国最大の内陸塩湖である青海湖があるためこう名づけられた。青海省は55の民族が集中して住んでいる省であり(いないのはロバ族である)、2010年第6回の人口センサスによると青海省の総人口は約562万67人であり、少数民族人口は264万32人で全人口の46.98%を占めている。中でも、チベット民族は137万5059人で全省の少数民

⁵⁶ 李連榮「中国青海省チベット族民俗文化—他民族との交流と融合—」『文明21、(愛知大学国際コミュニケーション学会紀要)』、第17号、2006年。

族において唯一の百万人以上を有する少数民族で全省少数民族の 52.02%を占めている⁵⁷。

表 6 青海省民族別人口

	1953年	1964年	1982年	1990年	2010年
青海省総人口	1, 676, 534	2, 145, 604	3, 895, 695	4, 456, 946	5, 626, 700
少数民族総人口	854, 139	829, 318	1, 535, 780	1, 876, 515	2, 643, 200
漢族	822, 395	1, 316, 233	2, 359, 909	2, 580, 419	2, 983, 500
チベット族	493, 639	422, 664	753, 897	911, 860	1, 375, 059
回族	251, 959	280, 026	533, 859	638, 847	834, 298
サラール族	27, 760	29, 796	60, 981	77, 003	107, 089
モンゴル族	26, 224	24, 928	50, 454	71, 515	99, 815
トゥ族	53, 277	69, 296	129, 194	162, 865	204, 412

岡本雅享『中国の少数民族と言語政策』2008年の p 509表7－17の一部から2010年青海省第六次人口普查によるデータを付け加えた。

西寧市は省都であり、政治、経済、文化の中心でもある。同省の平均海拔は 3000 メートル、そのうち海拔が 4000～5000 メートルの地域は同省総面積の 54%を占めており、最も低いところは 1650 メートルで、一番高いところでは 6860 メートルもある。北部と北西部は山々とくぼ地、南部は青海・チベット南部高原、東部は河湟くぼ地で、その中に小さな面積の盆地と台地が散在しており、西部は主に「資源の宝庫」と称されているツァイダム盆地（柴達木盆地）である。

2010 年の統計によると同年の GDP は 300.83 億元であり、第一次産業は 14.2%、第二次産業は 44%、第三次産業は 41.8%を占めている。教育の面において全省の人口の中で、大学教育（高等専門学校以上を指す）を受けたのは 17 万 929 人、高校教育（中等専門学校を含む）を受けたものは 54 万 464 人、初級中学教育を受けたものは 112 万 2387 人、小学校教育を受けたものは 160 万 3399 人となっている（上述の教育を受けたものは各種類の学校の卒業生、修了生、在校生が含まれている）。全省の人口の中で、非識字者人数（国際慣例によって15歳及び15歳以上の読み書きができないものと少しはできるもののことを指す）は 93 万 4283 人で、1990 年に行った第 4 次国勢調査に比べて、総人口に占める非識字者率は 27.7%g から 18.03%に下がり、9.67%ポイント下がった⁵⁸。中でも、2014 年の青海省教育庁の最新データでは、現在、青海省の民族小中学校の総計は 725 校で、全省の 48.85%を占めている。うち、民族小学校は 611 校、中学校は 114 校である。全省の各級各類学校の少数民族学生の在学総数は 6.529 人で、全省の 59.27%をしめている。そして、省都の西寧市はチベット高原の東部に位置し、青海省の省都であり、青海省の政治、経済、文化の中心部でもある。北部は青海省海東地区、南は同海北チベット自治州と接する。管轄範囲としては、4 区（城中区・城東区・城西区・城北区）、2 県（湟中県・湟源県）、1 自治県（大通回族土族自治县）である。2009 年の西寧市統計年鑑によると西寧の総人口は約 220.50 万人である。少数民族の総人口は 554.763 人であり、人口が一番多いのは回族で、次はチベット民族である。教育機関において、幼稚園 278 校、小学校 458 校（民族学校 139）、普通中学校は 140 校（中学校・高校）、高等学校は 9 校、ほかに専門学校などは 10 校である。

⁵⁷ 『青海省統計年鑑』青海省統計局、2010 年。

⁵⁸ 『西寧市統計年鑑』青海省統計局、2010 年。

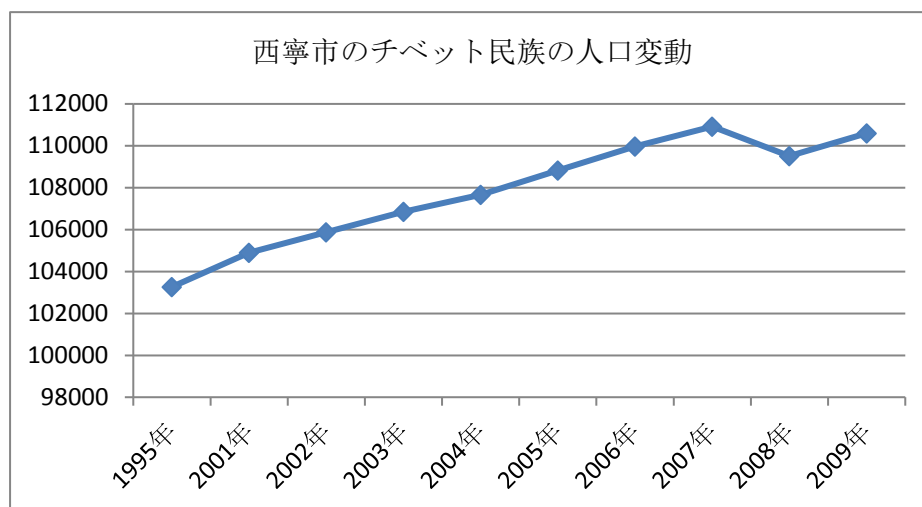
2 青海省のチベット民族教育の歴史的展開及び現状

2010 年第 6 回の人口センサスのデータによると、現在青海省のチベット民族は約 137 万 5059 人で、同省少数民族人口の中で最も多く 52.02%をしめている。青海省のチベット民族教育を全体像から見ると、中華人民共和国成立以前は、チベット自治地区とほかのチベット民族の地域と同じく、教育、文化の伝承機関としては、仏教寺院、私塾、官学と私塾など存在するが、最も中心だったのは仏教寺院であった。これについては、1958 年の当時チベット仏教寺院の数は約 759 カ所で僧侶は 33,338 人ほどあったとのデータからも察することができる⁵⁹。新式の学校教育を始めたのは、中華人民共和国成立以後、特に、1950 年代から中国政府はチベット民族幹部の養成を重視し、学校教育を普及させた。そこで、民族学校や学習機関も作られ、チベット語による教育が行われた。この時期、青海省人民政府の第 17 回行政会議でも少数民族教育の再建と推進をさせる方針が出された。しかし、文化大革命の時期、チベットの民族教育にも被害を及ぼした。少数民族学校が多く減少し、残った民族学校でも一切チベット語の授業をなくし、代わりに漢語の授業が行われていた。文化大革命が終わった後、少数民族教育は再び重視され、青海省教育庁は 1969 年また「少数民族授業の強化に関する意見」を出し、少数民族学校では、すべて民族語の授業を行うとの原則を定めた。この民族教育方針は 40 年以上経った今でも実施されている。しかし、現在の青海省の民族教育にはまだ民族語で授業を行う教員の不足や民族学校の減少など様々な問題が存在しており、2010 年 9 月 12 日に公布された「青海省中长期教育改革和发展规划纲要」で、民族語による授業を減少させ、漢語を普及させるとの傾向が一層激しくなっている。一方、青海省の中心となっている西寧市においてチベット民族の教育、文化伝承はまたこれ以上深刻な問題が存在している。それは、青海省の文化事業の中心でありながらも、少数民族の中で、総人口は全省一位、市内二位であるチベット民族では、チベット語で教育を受けられる各段階の教育施設さえ備ってないことである。このような現状が存在しているのは歴史的に見ると、以前、少数民族の人々は主に地方部に居住し、都市部に居住している少数民族人口は少なかった。また、中華人民共和国成立の初期では、民族幹部の養成が目的だったため、都市部において高等学校、師範学校の設立が中心としてあったなどの原因がある。しかし、教育の普及、経済の発展、現代化により、チベット民族の中でも都市部に就職、出稼ぎの人が増えてきた。表 7 が表しているように全体的傾向としては西寧に居住するチベット民族の人口は増加し続けている。

このような原因で西寧に居住しているチベット民族の家庭では、子供を市内の普通学校に通わせている。一方、どうしても自分の子供に民族教育を受けさせたい家庭では、子供を小さいころから地方部（州・県）の寄宿制学校に行かせている。そこで、近年このような現状の中で、チベット民族教育において新たな動向が現れてきた。それは、いわゆる「培训学校」である。この「培训学校」では主に民族語、民族文化、英語が教えられて、ここに通う子供たちは、平日は一般学校（漢語学校）に通い、土日曜日や長期的な休みのときはこの「培训学校」に通っているのである。

⁵⁹岡本雅享、前掲書 p510。

表7 西寧市チベット民族人口の変動



出典：1995 年から 2009 年までの『西寧市統計年鑑』より論者が作成。

第2節 西寧ガンジェン教育培訓学校の概況

西寧ガンジェン教育培訓学校は 2011 年 4 月 26 日に、西寧市教育局、西寧市民政局、西寧市発展改革委員会の許可により作られた培訓学校であり、総面積は 234 平方メートルである。学校施設は、一つの事務室と四つの教室がある。今の学校施設は成立当時、ロシバン・ニンジワンム博士⁶⁰による 50 万元の寄付金で買ったものである⁶¹。学校の運営目標は以下の西寧ガンジェン教育培訓学校が西寧市教育局に出した「西寧ガンジェン教育培訓学校の現状報告」⁶²においても次のように明記している。

「西寧ガンジェン教育培訓学校の現状報告

西寧市教育局：

西寧ガンジェン教育培訓学校は 2011 年に設立され、西寧市の教育局、民政局、西寧市発展改革委員会の許可を得て、設立された教育培訓と専門技術の学習を一体化した教育培訓機関である。学校は主にチベット語、漢語、英語、チベット書法、楽器、小中学校の学習と伝統文化芸術普及を行っている。

西寧ガンジェン教育培訓学校は通年で学生を募集しており、最新の学校設備と優れた学習の環境が設備されている。我が校は、教育培訓と文化伝承を大事にする原則に基づいて、学生一人一人に自分の才能を重視される場を提供する。

一、学校の運営目標

学校の運営目標は民族文化を伝承し、チベット民族の青少年たちに民族文化知識を普及し、我が省のチベット民族の知識構成を向上させ、チベット民族を知り、チベット文化を

⁶⁰ ロシバン・ニンジワンム博士：清華大学で博士課程修了、現在中国銀行監督委員会に就職中、チベット仏教の指導者である、十世バンチンラマの娘さんでもある。

⁶¹ 2015 年 10 月現場調査より。

⁶² 「西寧ガンジェン教育培訓学校の現状報告」は、西寧ガンジェン教育培訓学校の校長先生から送った資料であり、中国語の原文は論文の最後に添付している。

理解できる人材の育成である。

.....

我が校の創立は西寧市のチベット語培训学校の空白を埋めた以外、西寧市周辺のチベット民族またはほかの人々のチベット語の培訓、教育を受ける需要を解決できた。」

この「西寧ガンジェン教育培訓学校の現状報告」から、西寧市に置いて、チベット語の教育を受ける施設が設備されてないこと、また、西寧ガンジェン教育培訓学校のチベット語、チベット文化の伝承を主に行うことが承認されていることを察することができる。

また、教育内容は普段の土日曜日ではチベット語やチベットの書法、楽器などの伝統文化と英語、漢語の授業を行い、一般の学校が長期休みに入ったときは大学・高校受験の補習や公務員試験の補習が行われている。生徒においては、成立当時は、四つのチベット語クラスで、生徒数は60人だったが、現在は五つのチベット語クラスと四つの英語クラスに増やし、2015年までの生徒数は約1200人だった。教員において、現在、校長先生1名、在職教員（日本の常勤教師と同じ）は6名（修士4名、学士2名）、客員教師35名（全員学士以上）である⁶³。学校で使用しているカリキュラムは普通のチベット民族小学校のカリキュラムと各先生が選んだ参考資料である。2015年西寧市教育局への「西寧市ガンジェン培訓学校の運営状況報告」によると、2012年から毎年、西寧市で開かれる「チベット人文化祭」に参加し、2012年の11月15日、ユネスコと一緒に第一回目の「文化絵図：チベット族文化遺産保護」を開催した。2014年12月27日青海省テレビ局チベット語の「メドガンラ」番組は西寧ガンジェン教育培訓学校を撮影した。2015年からは以前のチベット語クラスと英語クラスなどの以外、大学・高校受験クラスと公務員受験クラスを設けられているのである。

本論文では西寧ガンジェン教育培訓学校を対象にした理由は、一つ目は、先述したようにガンジェン培訓学校の所在地である西寧市のチベット人口は地方部から都市部である西寧市に流動したにもかかわらず、チベット民族学校の設置が不完備しているのが現状の中でチベット語の学習環境をどこまで実現できているかを注目したいのである。二つ目は、2015年西寧教育網で公布した「西寧市民営教育機構リスト」での99校の民営教育機関の中でガンジェン培訓学校は唯一少数民族文化遺産を運営理念としているからである。

図4：ユネスコと一緒に第一回の「文化絵図：チベット民族文化遺産保護」



出典：西寧ガンジェン教育培訓学校のホームページにより転載

⁶³ 同上。

<http://blog.amdotibet.com/11542/index.aspx> 2016 年 1 月 15 日閲覧。

(チベットの伝統的な絵の内容では、チベット民族の医学、天文学、歴史、仏教など様々な文化内容が含まれている。しかし、現在この技術を学ぶ若者が減少しているため、この絵文化も絶滅しつつある。この「文化絵図：チベット民族文化遺産保護」のイベント開催するのはこの絵文化を保護するためである。)

図 5 青海省テレビ局「青海省テレビ局チベット語総合チャンネル」の「ガンラメド」という番組が西寧ガンジェン教育培訓学校で取材した。



家长接受“岗拉梅朵”节目组的采访。

出典：西寧ガンジェン教育培訓学校のホームページにより転載。

<http://blog.amdotibet.com/11542/index.aspx> 2016 年 7 月 20 日閲覧

(注：青海省には 7 つのテレビ局があり、なかで、青海省テレビ局には「青海省テレビ局チベット語総合チャンネル」がある。ガンジェン培訓学校で取材したのは「青海省テレビ局チベット語総合チャンネル」の「ガンラメド」という子供向けの番組である。)

第 3 節 西寧ガンジェン教育培訓学校の教育課程、予算

現在西寧ガンジェン教育培訓学校の現状を明らかにするため、論者は 2015 年 10 月に現場調査し、2015 年 12 月 27 日、2016 年 7 月 10 日に Wechat (日本の LINE と同じでビデオ通話できるソフト) によるインタビューを実施した。

1. 2016 年西寧ガンジェン教育培訓学校の教育課程

中国政府は 1980 年代から中華人民共和国成立以後続けてきた全国統一の教育課程とする「一綱一本」教育課程を「一綱多本」の教育課程に変更した。つまり、全国統一の教育課程を国家開発の教育課程、地方開発の教育課程と学校開発の教育段階の三段階教育課程に移行したのである。国は小学校から高校までの基礎教育段階の教育課程について制度を定め、各省と民族自治区は、地方の現状に基いて国の教育課程の実施計画を前提とし、独自に自分の地域に適応する教育課程を開発する。そして、学校レベルの教育課程の場合は、所在地の社会、経済発展の状況に基づき、学校の伝統と学生のニーズに配慮した教育課程の開発が出来るようになった⁶⁴。しかし、現状を見ると学校間の進学率競争、学生側の受

⁶⁴金龍哲「新しい教育課程モデルと民族文化の伝承-学校における文化の伝承は如何にして可能か-」、2014 年。

験競争などで、学校では国が決めてる試験科目以外は重視しない、あるいは、そのような授業が設置されているとしても実際は行われないうことが起こっている。

一般少数民族学校と違って、西寧ガンジェン教育培訓学校の課程を見ると、学年・クラスによって偏る傾向も存在しているが、チベット民族の文化を子供たちに伝えることを重視していることが読み取れる。現在西寧ガンジェン教育培訓学校には土日に開く教育課程と夏休みと冬休みに開く二つのタイプの教育課程があるが、資料の制約から今回分析対象したのは2016年冬休みの教育課程である。(注：授業の時間は約2時間であるが、2時間の間に15分ほどの休み時間を挟んでいる。また、コマ数について一時間は一つコマと理解するのが理解しやすい)

表8の教育課程の対象は、主に初心者的小学生の年齢層である。中国の学校では長期の休みは二つあり、夏休みと冬休みである。夏休みは7月、8月である。学校の始まりは9月1日であり、また、9月は中国の新学期の始まりでもある。冬休みは1月の中旬から3月の1日までである。表8の授業開催期間は冬休み中の1月の下旬から2月の中旬まで約一ヶ月間である。

表8 西寧ガンジェン教育培訓学校 2016年冬休みの授業設定表

チベット語クラス			
クラス	授業時間	総授業時間	教室
入門クラス	10:30-12:15	50 コマ	A
一年生	9:00-10:30	50 コマ	B
二年生	10:30-12:15	50 コマ	A
三年生	9:00-10:30	50 コマ	B
芸術クラス			
クラス	授業時間	総授業時間	教室
美術クラス	12:30-14:30	30 コマ	A
ダンスクラス	14:30-16:30	50 コマ	B
ギタークラス	12:30-14:30	30 コマ	C
箏クラス	15:00-17:00	50 コマ	A
英語クラス			
クラス	授業時間	総授業時間	教室
剑桥英語 (ケンブリッジ) ⁶⁵	9:00-10:30	50 コマ	C
新概念英語 ⁶⁶	14:30-16:30	50 コマ	A

表8の教育課程の学生は9歳から11、12歳ほどの年齢層である。クラスの学生は近年西寧市に引っ越ししチベット語の簡単な日常会話と字母を書ける子供もいるし、西寧市で生まれ育ち、幼稚園のころからもう漢民族の学校に通い、チベット語での日常会話さえできない子供もいる。だから、ガンジェン培訓学校の入門クラスではチベット語の字母を教

⁶⁵ 注：剑桥英語：主に英語資格を取るためで、ケンブリッジ大学試験委員会が英語が母語ではない国の6歳～12歳の児童の英語能力高める為に制定した試験があってその試験向けの授業である。

⁶⁶ 注：新概念英語 (NEW Concept English)：1997年で、外国語教学与研究出版社と培生教育出版社が連合で出版された英語の教材である。中国では40年の歴史を持つ。作者は L.G.Alexanderto 何其辛である。

え、クラスを分ける時も、チベット語のレベルによって決めている。また、芸術クラスについて、今回詳細に分析していないが、注目すべきなのは、芸術の各クラスでは全国統一した教材が使用しながら、一方、チベット民族の伝統文化の内容も加えている。

表 9 西寧ガンジェン教育培訓学校 2016 年第二期の土日授業設定表

チベット語クラス			
クラス	授業時間	総授業時間	教室
入門クラス	9:00-10:30	50 コマ	A
一年生	9:00-10:30	50 コマ	B
二年生	10:40-12:25	50 コマ	A
三年生	10:40-12:25	50 コマ	B
四年生	10:40-12:25	50 コマ	C
美術・ダンスクラス			
クラス	授業時間	総授業時間	教室
デッサンクラス	12:30-14:30	30 コマ	A
児童絵	14:30-16:30	30 コマ	B
ダンスクラス	14:30-16:30	50 コマ	C
ギタークラス	12:30-14:30	30 コマ	C
箏クラス	15:00-17:00	50 コマ	A
英語クラス			
クラス	授業時間	総授業時間	教室
剑桥英語 (ケンブリッジ)	9:00-10:30	50 コマ	C
新概念英語	14:30-16:30	50 コマ	A

表 9 の西寧ガンジェン教育培訓学校 2016 年第二期の土日授業設定表は、主に第一期の学生が対象となっており、第一期の学生の次の段階に入るため新しい年級が設定されている。また、美術・ダンスクラスの募集は行ったが、応募する生徒がないため、今学期はキャンセルとなっている。全体的に見るとチベット語クラスはこの学校の特徴であり、実際の運営の中心となっている。

表 10 西寧ガンジェン教育培訓学校 2016 年冬休み中学校受験クラスの授業設定表

	一限	二限	三限	総 授 業 時間
	9:00-10:35	10:45-12:20	14:00-17:00	
月曜日	チベット語総合復習	チベット語総合復習	チベット語総合復習	35 コマ
火曜日	漢語総合復習	漢語総合復習	漢語総合復習	28 コマ
水曜日	数学総合復習	数学総合復習	数学総合復習	28 コマ
木曜日	物理総合復習	物理総合復習	物理総合復習	28 コマ
金曜日	化学総合復習	化学総合復習	化学総合復習	28 コマ
土曜日	漢語総合復習	チベット語総合復習	数学総合復習	28 コマ

日曜日	チベット語総合復習	漢語総合復習	数学総合復習	35 コマ
-----	-----------	--------	--------	-------

表 11 西寧ガンジェン教育培訓学校 2016 年冬休み大学受験クラスの授業設定表

	一限	二限	三限	総 授 業 時間
	9:00-10:35	10:45-12:20	14:00-17:00	
月曜日	チベット語総合復習	チベット語総合復習	チベット語総合復習	35 コマ
火曜日	漢語総合復習	漢語総合復習	漢語総合復習	28 コマ
水曜日	数学総合復習	数学総合復習	数学総合復習	28 コマ
木曜日	政治（物理） 総合復習	政治（物理） 総合復習	政治（物理） 総合復習	28 コマ
金曜日	歴史（化学） 総合復習	歴史（化学） 総合復習	歴史（化学） 総合復習	28 コマ
土曜日	地理（生物） 総合復習	地理（生物） 総合復習	地理（生物） 総合復習	28 コマ
日曜日	チベット語総合復習	漢語総合復習	数学総合復習	35 コマ

（注：表 8, 9, 10, 11 は西寧ガンジェン教育培訓学校の各クラスの授業設定表より論者が作成）

表 10、11 の対象は中学校・大学校受験生が対象であるため、授業の科目は普通の民族学校の科目と同じく設定している。また、課程設定においてこの学校の特徴でもあるが、チベット語の総授業時間はほかの科目より約 8 コマ多く制定している。また、この段階で英語の授業が設定されていないのは、少数民族の学生が大学受験のとき漢語は第二言語であるためであり、第三言語である英語の割合が低く設定されている。このような受験生は「民考民」と言われ、民族高校から民族大学を受験する際に、漢語は第二言語とされている。もう一つのタイプは「民考漢」であり、民族高校から漢民族の大学を受験することである。特例でもあるがこのタイプの学生には民族語、漢語以外に英語も要求されている。しかし、西寧ガンジェン教育培訓学校に通っているのは全部「民考民」タイプの学生であるため。英語の授業が設定されなかったと考えられる。

図 6 授業中の様子



出典：西寧ガンジェン教育培訓学校のホームページより転載

<http://blog.amdotibet.com/11542/index.aspx> 2016 年 7 月 20 日閲覧



(2 年生のチベットクラス)

出典：2016 年 11 月 12 日論者が撮影

図7 チベット語クラスで使っている各段階のカリキュラム



出典：2015 年 10 月現場調査の当時論者が撮影

図8 入門クラスの教科書の目次の一部

ཐུན་མཁའ་ཆུང་།(2)
༡. གསལ་བྱེད་ཆོས་འཛིན།(2)
༢. དབང་པ་ཡིག་ཆོས་འཛིན།(3)
༣. གསལ་བྱེད་གསུང་བྱེད་འགྲེལ་ཆུང་།(4)
༤. དབང་པ་ཡིག་ཆོས་འཛིན།(19)
༥. དབང་པ་གསལ་བྱེད་ཆུང་།(20)
ཐུན་མཁའ་ཆུང་གི་ཡིག་ཆོས་ (༡)(28)
ཐུན་མཁའ་གཞིམ་ལ།(30)
༦. མཁའ་ཆོས་དང་དབང་པ་ཡིག་ཆོས།(30)
(༡) མཁའ་ཆོས་ཀྱི་ཡིག་ཆོས་འགྲེལ།(30)
(༢) མཁའ་ཆོས་ཀྱི་ཡིག་ཆོས།(33)
(༣) མཁའ་ཆོས་ཀྱི་ཡིག་ཆོས།(34)
ཐུན་མཁའ་ཆུང་གི་ཡིག་ཆོས་ (༢)(36)
ཐུན་མཁའ་གཞིམ་ལ།(38)
༧. འགྲེལ་བྱེད་དང་དབང་པ་ཡིག་ཆོས།(38)

出典：2015 年 10 月現場調査の当時論者が撮影

現在、西寧ガンジェン教育培訓学校の入門クラスで使われている教科書は、一般のチベット民族小学校で使用している教科書である。この教科書は、青海省小中学校チベット語カリキュラム審査委員会の審査を通し、青海民族出版社より出版されたものである。入門段階の教科書の構成を見ると、全部で七章である。第一章と第二章では、子音の読み書きを学び（日本語のあ、い、う、え、おと同じ）第三章から七章までは、チベット語の構成を学ぶ（日本語だと濁点の使い方と似ている部分があるが、チベット語の付け方はもっと複雑であるため、章数もそれなりに多くなっている）。

以上の授業設定表から西寧ガンジェン教育培訓学校は一般のチベット民族小学校と同じく、西寧市に在住の子供たちに民族語を学ぶ機会を与えている。しかし、授業のカリキュラムは一般の小学校と同じである点からは、民族文化伝承とは言え、チベット語、文字の読み書き段階に止まっていると考えられる。

2、2016 年西寧ガンジェン教育培訓学校の予算

人事についての資料が不足のため、今回は予算だけに絞り、西寧ガンジェン教育培訓学校の 2016 年前期の培訓結果より、分析することにした。

民営教育施設であるため、地方政府からの財政的な支援なく、西寧ガンジェン教育培訓学校の予算は殆ど寄付により成り立っている。2011 年に設立した当時ロシバン・ニンジワナム博士により 50 万元の寄付金を受け、現在の校舎を購入したのである。学校の設立理念は利益ではなくチベット民族文化の伝承だったので、学費を最低限に設定してきた。2015 年からは、予算の不足などの原因により、授業料、科目設定において調整した部分が存在している。

小学校段階において、設立当時は、土日クラスは月 200 円で、長期休み中の約 1 月の学費は 350 元だった。2016 年からは、土日クラスを無料にし、長期休み時期のクラスは 500 元に調整したのである。土日クラスを無料にした理由は、普通学校での勉強、宿題などの理由で、毎週来れる学生は少ないし、前回来てないと次の授業にはついていけないためである。それが原因で、授業の内容もイベント中心にし、教室で学ぶことより、生活の

中でチベット語を話すことを大切に、先生とチベット語で交流し、西寧市のチベット人町に買い物に行くなどに変更している。2016 年冬休み中この小学校クラスに参加したのは 43 人だった。大学・高校受験クラスの学費は 2200 元であり、2016 年冬休みでは、大学受験生 40 人と高校受験生 30 人が参加した(教室など設備不足のため募集人数を制限している)。

2015 年から、公務員受験クラスが設置された。公務員受験クラスの学費は、授業を受ける日数によって変わる。24 日間 6650 元、8 日間は 2400 元、一日は 288 元である。2015 年第一回目は無料で、参加人数は 47 人だった、2016 年は全部で 21 人だった。

表 12 西寧ガンジェン教育培訓学校 2016 年前期の財政状況

表 12 ガンジェン培訓学校の収入概表：

	学費 元/一人	学生数	総額
小学校クラス	500 元	43 人	21.500 元
中学クラス	2.200 元	30 人	66.000 元
高校クラス	2.200 元	40 人	88.000 元
公務員クラス	4.525 元	21 人	95.025 元
総数		134 人	270.525 元

(注：これらの表は西寧ガンジェン教育培訓学校の聞き取り調査より論者が作成した。また、芸術クラスの資料が足りないため、今回の予算対象にしてない。また、公務員クラスの学費は二つのタイプ、24 日間で 6.650 元のタイプと 8 日間 2.400 元のタイプがあるため。今回平均学費に換算した。)

次に、主な支出となる教員の給料についても触れておきたい。常勤の教員は毎月 2000 元プラス一回の授業は 20 元で清算している。非常勤の教員はチベット人の大学教員、専門家がが多く、一回の授業は 25 元と設定されている。しかし、実際はボランティアとして授業を行い、給料を貰わないのが殆どである。公務員受験クラスの教員は一回の報酬は 35 元である。今回、常勤教員、非常勤(チベット人)、公務員クラス教員の給料、また、2016 年前期の総コマ数は分かるが、各先生の持ちコマ数のデータが欠けている部分があるため、ただの参考にしかない。

西寧ガンジェン教育培訓学校の 2016 年前期の学費の設定変化から、チベット小学生段階の学費を低く設定し、より多くの人が学べるような環境をつくろうとしていることが分かる。大学・高校受験クラスと公務員受験クラスは主な収入源となっていることも考える。

3、西寧ガンジェン教育培訓学校の設立経緯と今後の課題のインタビュー 校長先生へのインタビュー

西寧ガンジェン教育培訓学校の設立経緯と今後の課題を明らかにするため、論者 2016 年 7 月 10 日（日曜日）15 時から約 1 時間 Wechat（日本の LINE と同じでビデオ通話できるソフト）によるインタビューを行った。以下はその分析である。

T 校長は青海省師範大学のチベット言語文学の専攻卒業であり、2006 年までは、青海省玉樹市第一民族中学校でチベット語の先生をされていた。2006 年から個人でチベット語を教えるようになった。

T 校長先生がこの学校作った理由について、筆者が T 校長先生聞くと、以下のように述べた。

「西寧市にはチベット民族の小学校はありません。あとは、今の子供の中でまともなチベット語ができる子が少なくなっていますね。最初は学校を作ろうということは考えてもいなかったのですが。このような状況が深刻化してほしくなかったからつくったのです。」

この学校設置した経緯について、T 校長先生が次のように述べられた

「この学校はね、最初の名前は西寧ガンジェン教育培訓学校ではないのですよ。元の名前はニミ学校といいました。授業は日曜日に行っていたので、この名前をつけました。当時は、自分の子供がチベット語ができないと毎回実家に帰ると自分の親にそう言われるから、私に時間があるときチベット語を教えてほしいと知り合いの人に頼まれた。それで、2006 年から子供たちにチベット語を教えるようになりました。最初は学生が一人、二人だったので、時間のある時自分の家で授業をやりました。段々と人数が増えたのでニミ学校と名前をつけ、学校という感じでもないですけど、日曜日に定期的に私の家で授業をやりました。」

こうした話からは、T 校長先生がチベット民族の文化が失われている事に対しての危機感とチベット民族としてのアイデンティティと少数民族文化が失いつつあることに対する不安が読み取れるだろう。

また、当時の学費について T 校長先生に尋ねると「そのとき学費がもらうとの感じではなかったですね、皆知り合いの子供だし、授業も毎週行うことでもなかったから。」と述べた。

2016 年からの公務員クラスについて聞くと答えられた

「どういえばいいのかな、前も話したと思いますが、この学校の資金は殆ど寄付なので、それだけだとちょっときついですね。職員の給料も、授業の資料、イベントの費用なども必要だからね。後は、最近公務試験の培訓学校はたくさんあるけど、学費だけ高くしてちゃんと教えてないところもあるからね。チベット人の学生たちにちゃんと知識を身につけてほしいし、チベット人が設置した公務員試験の培訓学校だとチベット人の学生が信頼してくる人も多いからね。」

T 校長先生の話から西寧ガンジェン教育培訓学校の予算の不足を補う今後公務員試験クラスは収入源になる動向を察することができる。

最後に、今後西寧市にチベット民族小学校ができれば西寧ガンジェン教育培訓学校とはどんな関係が理想的ですかと質問すると次のように述べられた。

「私は培訓学校はあくまでも培訓学校で普通学校のレベルに達するのは難しいと思います。だから、西寧市にチベット民族小学校が今後できるのはいい方向で、その時、この西寧ガンジェン教育培訓学校の役割も変わると思いますね。今は、この学校の教科書は普通の民族小学校と殆ど同じですが、今後、西寧市に民族小学校ができればその時この学校の授業内容はもっと本格的な文化伝承といえるものに変えられると思います。民族小学校の補充としてね。」

上記のインタビューから西寧ガンジェン教育培訓学校は、チベット民族の文化伝承のために設立した民営学校であることが改めて認識できる。この学校により一部の子供がチベット語を勉強し始めている。しかし、現状では言葉と文字を学ぶレベルに止まっている。今後、カリキュラムを多様化し学校教育と補充し合い、個性を持つカリキュラムを編制する必要があると考えられている。西寧ガンジェン教育培訓学校が設立当時から非営利的であるため、現在予算難が問題になっている。今後は、予算の問題をいかに解決するのかも西寧ガンジェン教育培訓学校にとってはもう一つ重要な課題である。

4、西寧ガンジェン教育培訓学校の現状、役割に関する教師、生徒、保護者に対するインタビューについて

その現状を全体的に把握するため、筆者は、2016 年の 11 月 12 日(土)、11 月 13 日(日)、12 月 18 日(日)に、当学校の教師、生徒、保護者に対してインタビューを行った。以下はその分析である。

1、教師に対するインタビュー

時間：2016 年 11 月 13 日(日) 10 時 30 分から授業の休憩時間に、1 人約 30 分ほど。

現在、教師は全部で 3 名おり、その中で 2 人は学期ごとの契約で、1 人は年ごとの契約である。

インタビューを行ったのは一年契約と一学期契約の各 1 名である。

J 先生は、30 代女性で、西北民族大学のチベット語専攻卒業生である。2015 年までチベット語翻訳の会社に勤務し、2015 年から西寧ガンジェン教育培訓学校に就職した。

P 先生は、22 歳女性で、青海民族大学化学専攻の 3 年生であり、2014 年から現在まで 4 学期西寧ガンジェン教育培訓学校と契約した。

J 先生と P 先生にこの学校に就職した理由と今後の計画について聞くと、以下のように述べた。

(J 先生)「私と当校の校長先生は同じ地元です。大学を卒業してから自分はチベット語専攻だったので、地元の翻訳の会社に就職したが。個人的な理由で会社を辞めて、西寧に引越しをしました。その時ちょうどこの校長先生に声を掛けられて 2015 年からここで働き始めました。今はこの学校で働きながら、公務員試験の準備をしています。」

(P 先生)「実は私もこの学生だった。家は地方部なので、小学校から民族学校に通った。高校三年生のとき西寧市に住んでいる親戚から、西寧市にはチベット学生の大学受験向け培訓学校があり、そこで教えている先生の中に大学の受験試問を出した経験のある大学の先生もいると聞いた。2013 年にはこの学校の約一ヶ月間の大学受験勉強クラスに参加しました。大学に入ってから校長先生から声を掛けられて断続的にここでアルバイトをしている。大学卒業したら地元の民族中学校の化学の先生になりたいが、まだ分からない。」

この 2 人の先生の話しから、西寧ガンジェン教育培訓学校の先生の殆どは校長先生の依頼でここで働いており、長期的に働く予定がない。この面で西寧ガンジェン教育培訓学校の先生らは不安定な就労状態にあると予測できる。仮に、いつか教師不足の問題が実際に起きたとしてたら学校の運営にも影響がでてくると思われる。

ここのチベット語クラスの生徒に授業を行った感想と授業に関する問題点を聞くと次

のように述べた。

（J 先生）「一般的には民族学校の生徒の場合、コミュニケーションはチベット語のほが多いので、生徒たちはチベット語を身につけるのは当たり前となっています。しかし、この子供たちはコミュニケーション方法がチベット語より漢語のほうに慣れており、チベット語は母語というより第二言語となっている。だから、チベット語ができるとより良いが、できなくても問題にはならないと思っている人が多いです。それであえて積極的にチベット語を学ぼうという気持ちも強くはないですね。問題点としては、土日だけの授業で学んだのを一週間後に戻って来たときは、殆ど忘れているということですね。それよりも夏休みや冬休みなどの長期の授業だと効果がよく、特に、イベントのとき皆積極的に参加してくれます。でも、普通の授業のとき生徒の中でここ以外も他の塾に通っている人が多く、普通学校の宿題も多いので、深夜までその宿題をやって、授業中に寝ている子もたまにいます。子供がかわいそうとも思いますけどね。」

（P 先生）「この学校の生徒たちの授業は進めづらいです。大学生の中でチベット語の家庭教師をやっているものもいますが、皆短期の授業だけで、チベット語の能力を上げるのは難しいと言っています。問題は、授業の流れは生徒により変わってしまうことです。授業中にチベット語だけで話すと子供たちはずっと黙っているので、ついつい漢語で話しちゃうことかな。」

この 2 人の先生の話から、この子供たちが日々の生活では漢語が圧倒的に多く使われ、自分の中ではチベット語が母語だという意識が薄いのである。授業も短期間であるため効果が出にくくなっている現状が存在している。一方、この現状は現在の中国の各少数民族の教育に存在する民族学校離れ、民族語離れの結果の縮図であるとも言えるだろう。

2、保護者に対するインタビュー

時間：2016 年 11 月 13 日（日）8 時 30 分からと 12 時から 3 人、ひとり約 15 分ずつ。

西寧ガンジェン教育培訓学校の生徒は 6 歳から 8 歳ほどの子供であるため、朝は子供を学校まで送ってきた、あるいは昼間に子供を迎えにきた保護者が今回のインタビュー対象となり、全部で 3 名にインタビューを行った。

2016 年 11 月 13 日（日）8 時 30 分

D さん、69 歳、昔は地元で自分で飲食店を開いてたが現在は西寧市に就職している息子家族と一緒に暮らし、孫がこの学校に通って 1 学期目である。

2016 年 11 月 13 日（日）12 時から

F さん、38 歳、2012 年から西寧市に在住し、現在西寧市税務局に在職している。息子がこの学校に通っており、現在 3 学期目である。

V さん、68 歳、定年前は玉樹州の公務員である。10 年前から夫婦で西寧市に引越してきた。孫がこの学校に通い、現在この学校に通う 3 学期目である。

筆者が三人の保護者に家庭の中での話す言葉について聞くと、以下のように答えた。

（D さん）「家の中では私と息子は殆どチベット語で話しているが、孫の母親はチベット人だがチベット語ができないので、漢語で話しているし、孫とはチベット語と漢語両方で話すのが多い」

(Fさん)「私と妻両方ともチベット語が普通に話せますが、職場では漢語なので、家に帰ってもつい漢語が出たりします。だから、どちらかというとやはり両方混ぜて使うのが多いですね。子供は二人いるが上の子はチベット語ができないので日常会話は漢語でしています。下の子とは漢語で話すのが多いが、子供が知ってるチベット語だとできるだけチベット語で話すようにしています。」

(Vさん)「孫の両親はもういなくなって、家で大人は私とお婆さん二人しかいないですが、二人で話すときはチベット語である。孫がこの学校に通ってから少しチベット語が話せるようになっていたので、まだ漢語が多いがたまにチベット語も使っています。」

三人の保護者の以上の話から、ここの子供たちにはチベット語を使う言語環境が少ないことが分かる。長時間いる漢民族の学校ではもちろん漢語でコミュニケーションしており、家庭の中でもチベット語ができない人がいる。それで、子供はチベット語ができなくてもいいとの意識がうまれてしまったのだろうと考えられる。また、保護者は自分の子供がこの西寧ガンジェン教育培訓学校に通ってから一定程度チベット語が話せるようになったと思い、この学校の教育効果を認めていると考える。少なくとも今回インタビュー対象となった三人は認めていると言える。

筆者が子供をこの学校に通わせた理由と今後の民族学校に通わせる将来像があるかどうかについて聞くと、以下のように述べられた。

(Dさん)「ここに通わせたのは子供の父親である。息子が知り合いからこの学校があると聞いて通い始めたのだが、元々自分はチベット人としてチベット語が話せるのはいいし、息子ももし将来子供が地方に就職することになったらチベット語が必要だと思っていたからだと思う。子供の親が今後についてどんなことを考えているのか私には分からないが、今は家族全員は子供がチベット語が話せるようになってほしいと思っている。」

(Fさん)「ここに通ったのは、奥さんが同僚から聞いたことに因る。子供は二人いるが、上の子はチベット語ができないが、もう中学生で日ごろの学習が忙しいので、ここに通っていない。下の子はまだ小学3年生なので普通学校の学習もそんなに重くないのでここに通わせている。子供をこの学校に通わせて期待することは、チベット語を話せるようになることである。あと、将来子供を民族学校に通わせるのはまだ考えてないが、そのときになったら、考えるかもしれない。」

(Vさん)「子供がこの学校に通ったのは、家がちょうど近くでここを通ったときこの学校のことを知った。自分はずっと母語が大事だと思ってから、子供を強制的にこの学校に通わせました。私が玉樹州の人民代表だった時も西寧市にチベット民族小学校が必要であるとの意見を出しましたが、結果的に叶いませんでした。もし、西寧市にチベット民族小学校ができたならこの子をそこに通わせようと思っています。今子供は漢語学校だが、もっと大きくなったら、子供が漢族学校と民族学校のどちらに行きたいか、選択させたいと思います。」

以上の話から、多くの保護者には、程度こそ違いながら、自分はチベット民族であり子供にもチベット語ができてほしいということを期待している。一方で、子供がチベット語を学んで、その後どうしていくべきかについて明確なプランがない。また、保護者へのインタビューを通じて世代の違いによって、チベット民族としてのアイデンティティ、自民族への愛着心が薄くなっていると筆者が感じた。

3、生徒に対するインタビュー

時間：2016年11月12日（土）12時放課後から1人約15分（C君、K君、G君。）

2016 年 12 月 18 日（日）20 時 30 分から約 30 分（Q さん）

インタビュー当日は三つのクラスで、生徒数は 13 名である。しかし、多くの生徒は、この学校での授業が終わった後、また次の補習学校に通うものも多くいる。だから、今回インタビュー対象となったのは放課後に時間がある 3 人の男の子になり、もう 1 人はこの西寧ガンジェン教育培訓学校で現在まで一番長く通い続けてきた女の子にした。また、インタビュー当時は子供たちがチベット語だけだと通じないのも多いため、漢語とチベット語両方で行った。

C 君は 9 歳で現在西寧小学校の 3 年生であり、この西寧ガンジェン教育培訓学校に通い 2 学期目となる。趣味はサッカー、得意なのはパソコンである。両親とも西寧市に働いている。

K 君は 8 歳で現在大通町小学校の 3 年生であり、この西寧ガンジェン教育培訓学校に通い 3 学期目となる。テコンドーが趣味で得意でもある。お父さんが公務員でお母さんは会社員である。

G 君は 10 歳で現在南山路小学校の 4 年生、この西寧ガンジェン教育培訓学校に通い 3 学期目となる。趣味はパソコンゲーム、得意なものは特にない。

Q さんは 14 歳で現在西寧第三中学校の中学 2 年生。西寧ガンジェン教育培訓学校に通い 4 学期目となる。趣味は映画鑑賞、得意なのはダンスである。両親とも西寧市に働いている。

筆者が 4 人の学生にこの学校に通った理由とここの授業の感想について聞くと、以下のよう

に答えた。
（C 君）「お父さんが応募したからここに通っています。授業楽しいし、友達も同じクラスだから、ここに通うのは嫌だと思っていないです。」

（K 君）「お父さんに言われたのでここに通いました。授業の感想については分からない。」

（G 君）「おじさんがチベット語ができないとよくないと言ってここに通わせました。ここに通うことは嫌じゃない。もう一個通っている英会話の補習学校より楽だからです。」

（Q さん）「お父さんに言われたのでここに通い始めた。授業は楽しい。特に西寧市の「チベット人文化祭」などのイベントに参加できて、とても楽しかったです。」

また、筆者が Q さんの学校を今まで続けてきた理由、学習の負担になるのかについて聞くと以下のよう

に答えた。
（Q さん）「お父さんに言われたのでここに通い始めました。今まで続けたのは毎週ここでチベット語を学ぶのは私にとってもう日常の当たり前なことになってたとの原因だと思います。家族みんなも私がチベット語を少し話せるようになったことを喜んでいるからです。私ももうすぐ高校受験で普通学校の学習も多いですが、でも、ここはやっぱり、続けられるまで通いたいと家族も私もそう思っています。」

以上の話から、子供がこの学校に通うのは殆ど保護者の意向であり、子供自身は自分がどうしてチベット語を学ぶのかは理解していない。しかし、この学校に通うことは特に嫌がっていなかった。これは、西寧ガンジェン教育培訓学校の先生がここの子供のチベット語を学ぶ環境が少ない、普通学校の学習が多いなどの現状を把握しており、授業を楽しい雰囲気の中で行うという努力をしていることの表われであると思う。

この学校に通い始めたのは自分の意向ではないとしても、西寧ガンジェン教育培訓学校のような民族語、民族文化に触れることができるような環境を作って挙げることにより、子供が母語を学び続けたい気持ち、もっと言えば自民族への愛着心を引き出すことができると考える。

今回、西寧ガンジェン教育培訓学校の教師、生徒、保護者に対するインタビューを通じて、改めて現状のままだと少数民族としての意識、民族言語、文化がいつかなくなると感じた。今後、教師と保護者が如何に連合して子供たちに民族語を学習する興味も持たせるのかは西寧ガンジェン教育培訓学校また、各民族教育機関にとっては重要な課題である。

終章 まとめ及び今後の課題

本論文では中国の民営教育における少数民族教育、少数民族文化伝承に注目した。特に、チベット民族が多く居住し、民族学校が整備されていない地域における、民営教育の文化伝承の現状、課題をあきらかにし、多文化共存の社会への展望を探ることを目指した。本論文で論じてきたことを各章ごとに整理すると第1章では、近年中国の教育において最も重要な課題とされている教育の格差問題、教育の質の問題を描き、特にこの現状における少数民族の教育に注目し、チベット民族教育の実例から中国の少数民族教育の現状と存在する問題を明らかにした。1980年代以降の計画経済から市場経済への経済改革により、国民の所得が大きく上昇する一方で、都市部と農村部において格差が依然として深刻な状態にある。経済の格差から教育の格差問題が起こり、現在の中国において少数民族の学歴はまだ全体的に低いレベルに留まっている。少数民族が多く居住している西部には依然として資金不足、人材不足の問題が存在している。また、少数民族公教育における文化伝承において、1980年代から全国統一の教育課程とする「一綱一本」教育課程を、「一綱多本」少数民族教育の教育内容が重視される動きが現れた。しかし、本研究の対象であるチベット民族の教育現場の現状から、これは極めて少数な例であることが確かめられた。

第2章では、1970年代末に現れ始めた中国の民営教育の変遷と先行研究を踏まえ、各時期の政策と現在中国の民営教育に存在する問題を明らかにした。そして、本論文の研究対象とする西寧市の民営教育の変遷を整理し、特に、2012年11月27日の西寧市人民政府第12回常務委員会議での「西寧市民営教育機関設置管理弁法」と2016年9月1日から実施した「西寧市民営教育機関設置管理弁法（修正案）」を対比し、変更となった部分をまとめ、整理することで西寧市の民営教育の現状を把握した。

中国の1982年12月4日に修正された「中華人民共和國憲法」第19条では、「国家は、集体経済組織、国家企業事業組織とその他の社会力量が法律の規定に基づいて各種の教育機関を設置することを励ます」と規定した。この規定により、中国では始めて学校の設置主体において、国家や地方政府以外の「社会力量」を認め、法的な位置を付けられたのである。現在、中国の民営教育にはまだ、政策上の公教育と私教育の分類の不明確、民営教育自身の教育質量、信用度の低下などの問題が存在している。しかし、現在までの各時期の国の民営教育の政策、存在した問題など全部で中国の教育における私教育（民営教育）の位置上昇のプロセスだと言えるのである。そして、本論文の研究対象地である西寧市の民営教育政策まとめ、整理により、中国の民営教育においても格差問題が存在していることを確かめた。また、西寧市の民営教育は発展初期から民営教育機関の設置条件の明確化、民営期間の不正行為の防止を重視している。特に、今回の「西寧市民営教育機関設置管理弁法（修正案）」では、青海省の多民族が共存する現状から、第一章総則の第4条では、「国家通用原語文字が学校及びほかの教育機構の教学原語文字にし、場合によって、国家の通用言語文字と自民族或いは当地民族の通用言語文字を使用する二言語による教育を行う」との新しい内容を補充していることを把握した。

第3章では、本論文の事例校－西寧ガンジェン教育培訓学校が存在する青海省西寧市の地理環境、人文環境などの概況を紹介し、青海省の民営教育の変遷を政府の文書を元にまとめ、分析をした。それから、事例校への現場調査、インタビューを行い、中国の少数民族教育において、特に、青海省西寧市のような都市部においてチベット民族教育の各段階の教育施設が整備されてないところでは、民営教育機関が民族小学校の代わりとして、

チベット語を学習できる環境を提供していることを確かめた。

しかし、一方、現場の調査やインタビューから、西寧ガンジェン教育培訓学校にはまだ様々な問題がある。一つ目は、運営の不安定性であると考えられる。この学校は個人の募金により創られた民営教育機関であるため、政府が補助金を一切支給しておらず、学校の財政源は保障のない募金と少ない学費となっている。それで、学校の運営において固定財政として創校時に買い取っているため、費用はかからないが、人事費においても財政源の不安定によりスタッフの入れ替わりが激しい問題を引き出している。今回のスタッフへのインタビューを通じて感じた。二つ目は、西寧ガンジェン教育培訓学校の最初の運営理念はチベット民族の文化を伝承することでありながらも、実際は授業時間数と生徒のチベット語レベルなどの制限によりチベット民族の文化に触れるイベントは開催しても、殆どチベット語の読み書き段階に止まっていり、文化伝承の目的はまだ達成できてないことを示した。

三つ目は、この西寧ガンジェン教育培訓学校に通うのは、殆ど生徒自身の意向ではない。しかし、この学校で一番長く続けてきたQさんのインタビューを通じて、最初はこの学校の通うのが自分の意志ではないとしても、日々の重なりにより、子供の意識は変わっていく可能性が高いと考えられる。

そして、この研究から見えてきた課題は三つある。一つ目は、憲法上において中国は多民族国家であると規定しているため、政府として各少数民族の文化を保護する義務を持っている。だから、公教育において、多民族の文化伝承のカリキュラムを開発し、私教育において、文化伝承を大事にする特徴のある民営教育機関を支援することが求められている。二つ目は、民営教育機関としては、普通学校と連携し、交流できる場を作って情報交換をすることが重要である。特に西寧ガンジェン教育培訓学校の場合だと、チベット民族を含めもっと多くの人々にこの学校の情報を伝えることは、学校の学生数、財源を増やす鍵であると考えられる。三つ目は、子供は環境により変わるということである。保護者、教師、政府として、普通教育だけではなく、一人一人の子供の個性、民族性を育むべきである。以上は、筆者が思う今後の中国の少数民族教育、民営教育の教育課題と提言である。

最後、本論文の不足点として、事例校への調査では、学校の予算について資料が不足しているため、詳しい分析ができなかった。また、今回の研究対象はチベット民族だけに絞っていたため、今後、中国の他の少数民族の文化伝承における民営教育の動きにも注目していくことが求められる。

参考文献リスト

単行本（日本語）

- ・王智新『現代中国の教育』明石書店、2004年。
- ・岡本雅享『中国の少数民族教育と言語政策』（増補改定版）社会評論社、2008年。
- ・金龍哲編訳『中国少数民族教育政策文献集』大学教育出版社、1998年。
- ・篠原清昭『中国における教育の市場化—学校民営化の実態—』ミネルヴァ書房 2009年。
- ・胡鞍鋼著・石平訳『かくて中国はアメリカを追い抜く』PHP研究所、2003年。
- ・西山佐代子「中国幼児園経営体制計画」北学園大学経済論集、第51巻第2号、2003年
- ・松尾知明『多文化教育が分かる辞典』明石書店、2013年。

単行本（中国語）

- ・王監主編『中国少数民族教育体系研究』民族出版社、2001年。
- ・王錫宏『中国少数民族教育本体理論研究』民族出版社、1998年。
- ・夏立憲『中国における民営大学の発展と政府の政策』溪水社、2002年。
- ・『青海省統計年鑑』青海省統計局、2009年。
- ・『全国教育事業発展統計公報』中国統計出版社、2013年
- ・周潤年『藏族教育』巴蜀書社、2013年
- ・戴慶厦・何俊芳『言語と民族（二）』中央民族大学出版社、2006年。
- ・滕星・王軍主編『20世紀中国少数民族与教育』民族出版社、2002年。
- ・滕星・王鉄志『民族教育理論政策研究』民族出版社、2001年。
- ・『中国統計年鑑』中国統計出版社、1998年。
- ・中華人民共和国教育部編『共和国教育50年』北京師範大学出版社。

論文

- ・王雷軒「成長が加速し始める中国の西部地域—「西部大開発」戦略の実態と展望」、『農林金融』63（8）、2010年。
- ・格日樂「中国民族教育における教育自治権について：民族教育の使用言語文字と教育内容に対する自治権を中心に」一橋大学『一橋法』5（3）、2006年。
- ・小柳正司、ハスンゲルン「中国内モンゴル自治区における民族語教育の現況」鹿児島大学教育学部教育実践研究紀要、17：p101－107、2007年。
- ・金龍哲「文字を持たない民族の文化伝承と学校教育母系社会を営む中国雲南省のモノ人の事例」『神奈川県立保健福祉大学誌』第5巻 第1号 2008年。
- ・金龍哲「新しい教育課程モデルと民族文化の伝承—学校における文化の伝承は如何にして可能か—」『アジア教育学会第9回大会』2014年。
- ・朱源星 「対高収費民営学校的思考」『探求』、1996年。
- ・ハスゲレル「中国モンゴル自治区におけるモンゴル民族教育の現状と課題—バイリンガル教育と英語教育の導入に伴う変容を中心に—」首都大学東京博士学位論文、2013年。
- ・ハス額爾敦「中国少数民族地域の民族教育政策と民族教育の問題—内モンゴル自治区の民族教育を中心に—」名古屋大学『多元文化』第5号、2005年。
- ・杉村美紀「中国における教育格差の連鎖と重層化」『東洋文化研究』14、2012年。
- ・蘇于君「中国における農村教育発展とその課題」『鶴山論叢』第11号 2011年。
- ・三浦有史「中国は「人口大国」から「人材大国」へ変わるか」『環太平洋ビジネス情報 RIM 2008』 Vol.8 No.28 2008年。
- ・劉占富「中国における教員給与政策」東京大学大学院、教育研究科『教育行政学研究紀要』第5号 2006年。
- ・金龍哲「伝承文化」の教育課程化の論理と課題—「書法課」の展開を手掛かりとして

- ー」、『教育学研究紀要』58、2012年。
- 庄司博史「中国少数民族言語政策の新局面―特に漢語普及とのかかわりにおいて―」『国立民族学博物館研究報告』、27巻4号、2003年。
 - 李連栄「中国青海省チベット族民俗文化―他民族との交流と融合―」『文明 21、(愛知大学国際コミュニケーション学会紀要)』、第17号、2006年。

ホームページ

- 中国国務院法制部 www.chinalaw.gov.cn 2016年6月23日閲覧。
- 中国教育部網 www.moe.edu.cn 2016年6月23日閲覧。
- 中国消費者協会網 www.cca.org.cn 2016年6月23日閲覧。
- 中国青海省人民政府網 <http://xxgk.qh.gov.cn> 2016年7月12日閲覧。
- 中国青海省西寧教育網 www.xnedu.cn 2016年7月12日閲覧。
- 西寧ガンジェン教育培訓学校 <http://blog.amdotibet.com/11542/index.aspx> 2016年7月20日閲覧。

付録 1

「中華人民共和國民營教育促進法」・「中華人民共和國民營教育促進法修正案」

(注「中華人民共和國民營教育促進法」は西山佐代子の日本語訳を引用し、引用の出典は本論文の p4 と同じである。「中華人民共和國民營教育促進法修正案」は論者が約したものである。)

1 修正部分の対比：

十八条 民営学校は学校運営許可証を取得し、併せて関連する法律に基づいて行政法規の登記を行う。登記機関は関連規定に基づいて即時に処理する。

修正草案：

- ・民営学校の運営者は自主的に学校を非営利性または営利性学校にすることができる。
- ・非営利性民営学校の運営者は学校運営により営利取得してはいけない、運営により取得した資金はすべて学校に使用する。
- ・営利性民営学校の運営者は学校運営により営利取得ができ、廃学により取得した資金は会社法などの法律、行政法規の規定より分配する。
- ・民営学校が法律により廃学許可証を取得後、法人登録を行う。登記機関は関連規定に基づいて即時に処理する。

三十七条 民営学校は、学歴教育を受ける者に対して、徴収費項目及び基準を制定し、関連部門に報告して認可を受け併せて公示する。その他の教育を受ける者に対する徴収費項目および基準は学校が制定し、関連部門に報告し併せて公示する。

民営学校徴収費は、主に教育教学活動及び学校経営条件の改善に使用する。

(第一部分を二つの部分にした)

修正草案：

- ・民営学校徴収費項目及び基準は廃学のコスト、市場の需要などにより決め併せて社会に公示する。
- ・非営利性民営学校の徴収費については、省、自治区、直轄市人民政府によって制定；営利性民営学校の徴収費は市場調節、学校側が自主的に決定する。

四十五条 県級以上の各級人民政府は、民営学校に経費の支援及び現在使っていない国有資産などの賃借、譲渡することができる。

修正草案：

- ・県級以上の各級人民政府は購買サービス、助学貸付金、奨学金、助学金及び現在使用しない国有資産などの賃借、譲渡などにより民営学校を支援することができる。非営利性民営学校に対して政府が補助金、奨励金及び寄付金などによって激励することができる。

四十六条 民営学校は、国家規定の税收優遇政策を享受する。

修正草案：

- ・民営学校は、国家規定の税收優遇政策を享受する。中で、非営利性民営学校は公営学校

と同等な税收優遇をされる。

五十条 民営学校の新築、拡張は、人民政府が公益事業用地及び建設の関連規定に基づいて、優遇措置を与える。教育用地はその用途に使ってはいけない。

修正草案：非営利性民営学校を新築、拡張する。人民政府が公益事業用地及び建設の関連規定に基づき、優遇措置を与える。教育用地はその用途に使ってはいけない。

五十一条 民営医学校は、学校運営費を除き、発展の予備金及び国家関連規定に基づくその他の必要経費を差し引いた後、出資者は学校経営の乗余から合理的な報酬を得てよい。合理的な報酬を取得する場合、具体的な方法は国務院規定による

修正草案：削除

五十九条 民営学校の財政に対して下記の順序に基づいて弁済する。

- (1) 教育を受けている者の学費及びその他の費用を返却しなければならない。
- (2) 教職員の賃金及び納めるべき社会保険費を支払わなければならない。
- (3) その他の債務を償還する。

民営学校の上述債務の弁済後の剰余財産は、関連する行政法規規定に基づいて処理する。

修正草案：(下だけ)

・非営利性民営学校は上述の債務を弁済後、剰余財産は引き続き教育事業に使用する。営利性民営学校は上述の債務を弁済後、剰余財産は会社法に基づいて分配する。

六十四条 社会組織及び個人が無断で民営学校を設立経営した場合には、県級以上の人民政府の関連行政部門は、期限内での改正任務を遂行するように命じる。本法及び関連法律規定の民営学校条件に達する場合は、事後認可してもよい。また、期限超過、学校経営条件に達しない場合は、人民政府によって学校経営停止を命令する。

経済的損失を生じた場合、法律に基づいて賠償責任を負わせる。

修正草案：

・国家の法律を違反し、無断で民営学校を設立経営した場合には、当地の県級以上の人民政府教育行政部門、人力資源社会保障部門及び同級の警察、民政、工商行政管理などの部門より学校経営停止を命令する。費用を返却し、設立経営者に一倍以上五倍以下の罰金をする。治安違反の場合警察により処罰する。犯罪に達した場合、刑事責任を負わせる。

六十六条 工商行政管理部門で登記登録する経営的な民営養成訓練期間の管理方法は、国務院別途規定による。

・修正草案：削除

付録 2

西寧ガンジェン教育培訓学校のインタビュー：

校長先生へインタビュー

時間：2016 年 7 月 10 日（日曜日）15 時から約 1 時間（Wechat（日本の LINE と同じでビデオ通話できるソフト）により実施し）

筆者：校長先生、お久しぶりです。何回もすみません。

校長：いいえいいえ、とんでもないです。

筆者：実は、今回論文に使うインタビューの録音が必要なりまして、またお願いすることになったんですが、

校長：はい、いいです。

筆者：はい今回録音しますが、問題は前とは特に変わらないですので、以前会ったときの話をもう一回確認するって感じでいいです。

校長：はい。わかりました。

筆者：はい。それでは始めます。当時この学校を作った動機は何だったんですか？

校長：あなたも知ってると思いますが、西寧市にはチベット民族の小学校はありません。あとは、今の子供の中でまともなチベット語ができる子が少なくなっていますね。最初は学校を作ろうということは考えてもいなかったのですが、このような状況が深刻化してほしくなかったからつくったのです。

筆者：はい、今はもうこの学校も作っておられて本当にいいことだと思います。この学校が今の規模になったのはいろいろあったとは思いますが、それについて話してもいいですか？

校長：はい。いいですよ。質問あったら遠慮しないで、何でもいいから。

筆者：はい。ありがとうございます。

校長：この学校はね、最初の名前は西寧ガンジェン教育培訓学校ではないのですよ。元の名前はニミ学校といいました。授業は日曜日行っていたのでこの名前をつけました。当時は、自分の子供がチベット語ができないと毎回実家に帰ると自分の親にそう言われるから、私に時間があるときチベット語を教えてほしいと知り合いの人から頼まれた。それで、2006 年から子供たちにチベット語を教えるようになりました。最初は学生が一人、二人だったので、時間のある時自分の家で授業をやりましたが。段々と人数が増えたのでニミ学校と名前をつけ、学校という感じでもないですけど、日曜日に定期的に私の家で授業をやりました。

筆者：はい。そのときは学費はどうしてますか？

校長：そのとき学費をもらうとの感じではなかったですね、皆知り合いの子供だし、授業も毎週行うことでもなかったのです。

筆者：そうだったんですね。今のこの西寧ガンジェン教育培訓学校の設立は 2011 年ですね。さき、先生が言ったニミ学校は今の学校と合併したんですか？

校長：はい。合併したと言うか同じですね。

筆者：そうですね。今の西寧ガンジェン教育培訓学校の概況についての資料はもう私の手元にありますが。送ってくれてありがとうございます。

校長：いいえいいえ。

筆者：概況を見ると最近公務員試験のクラスも制定していますが、これはどうしてですか？

校長：そうですね、どういえばいいのかな、前も話したと思いますが、この学校の資金は殆ど寄付なので、それだけだとちょっときついですね。職員の給料も、授業の資料、

イベントの費用なども必要だからね。後は、最近公務試験の培训学校はたくさんあるけど、学費だけ高くしてちゃんと教えてないところもあるからね。チベット人の学生たちにちゃんと知識を身につけてほしいし、チベット人が設置した公務員試験の培训学校だと、チベット人の学生が信頼してくる人も多いからね。

筆者：はい。ここの公務員試験の授業はチベット語で行われてますか。

校長：いいえ、漢語ですね。公務員試験についての専門家は殆ど漢民族だからね。できればチベット語での授業も行いたいですが今はまだ難しいですね。

筆者：そうですか。最後の質問ですが、先生は今西寧市にチベット民族小学校がないことについてどう考えますか、もしできたとしてたら、この西寧ガンジェン教育培训学校とはどんな関係が理想的ですか？

校長：そうですね。この前もこの質問されましたね。今西寧市にチベット民族小学校がないのは、もちろん政府側の問題もあるが、チベット人自分が自分の文化を大切である大切にすると思っている人が少なくなっている結果でもあると思いますね。あとはもし西寧市にチベット民族小学校ができたなら西寧ガンジェン教育培训学校とはどんな関係が理想的ですかという質問だけ？

筆者：はい、そうです。

校長：私は培训学校はあくまでも培训学校で普通学校のレベルに達するのは難しいと思います。だから、西寧市にチベット民族小学校できるのはいい方向で、その時この西寧ガンジェン教育培训学校の役割も変わると思いますね。今は、この学校の教科書は普通の民族小学校と殆ど同じですが。今後、西寧市に民族小学校ができたならその時この学校の授業内容はもっと本格的な文化伝承といえるものに変えられると思います。民族小学校の補充としてね。

筆者：はい、そうですね。やっぱり正式な民族小学校が必要ですね。今日の質問はこんな感じですが。また、お願いする時あるかもしれないですがその時またよろしくお願いします。今日はわざわざ時間を空けてくれて本当にありがとうございます。

校長：いいえいいえ。

(後は、ちょっと雑談)

教師へのインタビュー

時間：2016年11月13日（日）10時30分から授業の休憩時間に、1人約30分ほど。

J先生へのインタビュー

筆者：初めましてドルマです。インタビューをさせてもらいましてありがとうございます。

J先生：いいえいいえ、初めましてJです。

筆者：先生はここで働いてどれぐらいですか？

J先生：2015年からなので、まだ一年しか経ってないです。

筆者：そうですか。先生はどちら大学だったんですか？

J先生：私は、西北民族大学のチベット学院でした。

筆者：そうですか、中国の民族大学の中では、結構レベルが高い大学ですね。

J先生：いいえいいえ。

筆者：先生がこの補習学校で働いたきっかけはなんですか？

J先生：実は私と当校の校長先生は同じ地元なんです。大学を卒業してから自分はチベット語専攻だったので、地元の翻訳の会社に就職したが。個人的な理由で会社を辞めて、西

寧に引越しをしました。その時ちょうどこの校長先生に声を掛けられて 2015 年からここで働き始めました。

筆者：そうですね、この学校の授業の感想、授業の問題点などについてなんかありますか？

J 先生：私もうまく言えないですが、何て言うか一般的には民族学校の生徒の場合、コミュニケーションはチベット語のほうが多いので、生徒たちはチベット語を身につけるのは当たり前となっています。しかし、ここの子供たちはコミュニケーション方法がチベット語より漢語のほうに慣れており、チベット語は母語というより第二言語となっています。だから、チベット語ができるとより良いが、できなくても問題にはならないと思っている人が多いです。それであえて積極的にチベット語を学ぼうという気持ちも強くはないですね。問題点としては、土日だけの授業で学んだのを一週間後に戻って来たときは、殆ど忘れていくということです。それよりも夏休みや冬休みなどの長期の授業だと効果がよく、特に、イベントのとき皆積極的に参加してくれる。でも、普通の授業のとき生徒の中でここ以外でも他の塾に通っている人が多く、普通学校の宿題も多いので、深夜までその宿題をやって、授業中に寝ている子もたまにいます。子供がかわいそうとも思いますけどね。」

筆者：いろいろ大変ですね。先生はずっとこの学校で働くつもりですか。

J 先生：私は一年ごと契約ですが、でも、やっぱり安定した仕事の方がいいと思うので、今は、ここで働きながら、公務員試験の準備をしています。

筆者：そうですか、長くはないのですか。私の質問は以上ですが、先生から何かありますか。

J 先生：特にはないですが、この学校の生徒の特別な事例はいくつかありますが、それでもいいのなら。

筆者：はい、ぜひ教えてください。

J 先生：特別な事例で、チベット人の子供がここに通うのは理解できますが、今まで漢民族の子供の生徒も 3 人いました。

筆者：そうですか、ここに通う理由って何ですかね？

J 先生：詳しくはきてないですが、家族皆が仏教徒なので、お経を読めるようになるためとか言っていましたけどね。

筆者：そんなこともあるんですね。ほかに何かありますか。

J 先生：また、1 年生から 3 年生までこの学校に通って、去年から地方の寄宿制民族小学校に通った子も 1 人いました。

筆者：そうですか、それは小さい時はこの学校でチベット語の基礎を学んで、ちょっと大きくなったら地方部の寄宿制民族小学校に通ったということですね。結局、西寧市に民族小学校がないのは大きな原因になってますね。

J 先生：はい、そうですね。

筆者：はい、分かりました。ご協力ありがとうございました。

P 先生へのインタビュー

筆者：初めましてドルマです。インタビューをさせてもらいましてありがとうございます。

P 先生：いいえいいえ、初めまして P です。

筆者：先生はここで働いてどれくらいですか？

P 先生：私はまだ大学生なので、学期ごとの契約です。この学校で 2014 年から今まで全部で 4 学期を教えました。

筆者：そうですか、まだ学生さんですね。どの大学ですか、あこの学校で教え始めたきっかけはなんですか？

P先生：青海民族大学です。実は私もこの学生だったんです。家は地方部なので、小学校から民族学校に通った。高校三年生のとき西寧市に住んでいる親戚から、西寧市にはチベット学生の大学受験向け培训学校があり、そこで教えている先生の中に大学の受験試問を出した経験のある大学の先生もいると聞いて、2013年にはこの学校の約一ヶ月間の大学受験勉強クラスに参加しました。大学に入ってから校長先生から声を掛けられて断続的にここでアルバイトをし始めた。

筆者：そうですか。この学校の学生だったんですね。この学校の授業の感想、授業の問題点などについて何かありますか？

P先生：この学校の生徒たちの授業は進めづらいです。大学生の中でチベット語の家庭教師をやっているものもいますが、皆短期の授業だけで、チベット語の能力を上げるのは難しいと言っています。問題は、授業の流れは生徒により変わってしまうことです。授業中にチベット語だけで話すと子供たちはずっと黙っているのです、ついつい漢語で話しちゃうことかな。

筆者：そうですね、先授業を聴講したとき私もそう思いました。今の生徒のチベット語レベルだとたまに漢語を話すしかないですね。

P先生：はい、そうですね。

筆者：先生は卒業後何するのか何か計画ありますか。

P先生：今は、大学を卒業したら地元の民族中学校の化学の先生になりたいと思っていますが、今後はどうなるかまだ分からないですね。

筆者：そうですね、分かりました。他に何かありますか？

P先生：いいえ、特にないです。

筆者：はい、ありがとうございました。

保護者へのインタビュー

時間：2016年11月13日（日）8時30分からと12時から全部で3人、1人約15分ずつ。

Dさんへのインタビュー

筆者：初めまして、私はドルマと申します。

Dさん：初めまして、Dです。

筆者：この学校の現状を把握するために、この学校の保護者の方にもインタビューをすることになりました。今回インタビューをさせていただいてありがとうございます。

Dさん：大丈夫です、私なんかでよければ。

筆者：いいえいいえ。早速始めます。Dさんは今おいくつですか、何をなさっている方ですか？

Dさん：私はもう69歳になりました。昔は地元で自分で飲食店を開いていましたが、現在は西寧市に就職している息子家族と一緒に暮らしている。

筆者：そうですね、ここに通ってるのは誰ですか、通って何学期目ですか？

Dさん：私の孫がこの学校に通ってます。まだ1学期しか通ってないです。

筆者：はい、孫がこの学校に通わせたのは誰で、きっかけはなんですか？

Dさん：ここに通わせたのは子供の父親です。息子が知り合いからこの学校があると聞いて通い始めたのだが、私も自分はチベット人としてチベット語が話せるのはいいと

思っているし、息子ももし将来子供が地方に就職することになったらチベット語が必要だと思っていたからだと思います。

筆者：そうですか。家庭の中で家族全員は何語で話していますか？

Dさん：家の中では私と息子は殆どチベット語で話していますが、孫の母親はチベット人だがチベット語ができないので、漢語で話しているし、孫とはチベット語と漢語両方で話すのが多いです。

筆者：そうですね、言語環境って難しいですね。子供の親は子供が大きくなったら民族学校に通わせるとかは考えてますか？

Dさん：子供の親が今後についてどんなことを考えているのか私には分からないが、今は家族全員は子供がチベット語が話せるようになってほしいと思っている。

筆者：はい、そうですね。分かりました。すいません、お忙しいところ急なインタビューを頼みまして。

Dさん：いいえ、役に立つといいですけどね。

Fさんへのインタビュー

筆者：初めまして、私はドルマと申します。

Fさん：初めまして、Fです。

筆者：この学校の現状を把握するために、この学校の保護者の方にもインタビューをすることになりました。今回インタビューをさせていただいてありがとうございます。

Fさん：いいえ。

筆者：Fさんは今おいくつで、何をなさってる方ですか？

Fさん：私は今 38 で、現在西寧市税務局に在職しています。息子がこの学校に通っており、現在 3 学期目です。

筆者：公務員ですね、ここに通ってるのは誰ですか、通って何学期目ですか？

Fさん：私の息子がここに通ってます。今は 3 学期目ですね。

筆者：長いほうですね。子供をこの学校に通わせたのは誰で、きっかけはなんですか？

Fさん：ここに通わせたのは私ですが、家内が同僚から聞いたことに因ります。子供は二人いるが、上の子はチベット語ができないが、もう中学生で日ごろの学習が忙しいので、ここに通っていないです。下の子はまだ小学 3 年生なので普通学校の学習もそんなに重くないのでここに通わせたのです。子供をこの学校に通わせて期待することは、チベット語を話せるようになることです。あと、将来子供を民族学校に通わせるのはまだ考えていないが、そのときになったら、考えるかもしれないです。

筆者：そうですか。家庭の中で家族全員は何語で話していますか？

Fさん：私と妻両方ともチベット語が普通に話せますが、職場では漢語なので、家に帰ってもつい漢語が出たりします。だから、どちらかというとやはり両方混ぜて使うのが多いです。子供は二人いるが上の子はチベット語ができないので日常会話は漢語で話しています。下の子とは漢語で話すのが多いが、子供が知ってるチベット語だとできるだけチベット語で話すようにしています。

筆者：子供がこの学校に通ってからちょっとずつチベット語が話せようになっていると言うことですね？

Fさん：はい。

筆者：それは良かったですね。子供が大きくなったら民族学校に通わせるとかは考えてま

すか？

Fさん：そうですね。チベット語が話せるようになるのを期待していますが、将来子供を民族学校に通わせるのはまだ考えてないです。そのときになったら、考えるかもしれない。

筆者：はい、分かりました。インタビューは以上です。ありがとうございました。

Vさんへのインタビュー

筆者：初めまして、私はドルマと申します。

Vさん：初めまして、Vです。

筆者：この学校の現状を把握するために、この学校の保護者の方にもインタビューをすることになりました。今回インタビューをさせていただいてありがとうございます。

さん：いいえ。

筆者：Vさんは今おいくつで、何をなさってる方ですか？

Vさん：私は今年で68歳です。定年前は玉樹州の公務員です。10年前から夫婦で西寧市に引越してきました。孫がこの学校に通い、現在この学校に通う3学期目です。

筆者：そうですね、ここに通ってるのは誰ですか、通って何学期目ですか？

Vさん：私の孫がこの学校に通ってます。今はもう3学期目です。

筆者：はい、孫がこの学校に通わせたのは誰で、きっかけはなんですか？

Vさん：私です。子供がこの学校に通ったのは、家がちょうど近くでここを通ったときこの学校のことを知り、自分もずっと母語が大事だと思ってるから、子供を強制的にこの学校に通わせました。

筆者：そうですか。家庭の中で家族全員は何語で話していますか？

Vさん：孫の両親はもういなくなって、家で大人の私は私とお婆さん二人しかいないですが。二人で話すときはチベット語です。孫がこの学校に通ってから少しチベット語が話せるようになってるので、まだ漢語が多いがたまにチベット語も使っている。

筆者：そうですね、子供が大きくなったら民族学校に通わせるとかは考えてますか？

Vさん：私が玉樹州の人民代表だった時も西寧市にチベット民族小学校が必要であるとの意見を出しましたが、結果的に叶いませんでした。もし、西寧市にチベット民族小学校ができたならこの子をそこに通わせようと思っています。今子供は漢語学校だが、もっと大きくなったら、子供が漢族学校と民族学校のどちらに行きたいか、選択させたいと思います。

筆者：そうですね。分かりました。インタビューをさせていただいてありがとうございます。

Vさん：いいえ、論文頑張ってくださいね。

筆者：はい、ありがとうございます。

生徒へのインタビュー

時間：2016年11月12日（土）12時放課後から1人約15分（C君、K君、G君。）

筆者：初めまして、ドルマです。よろしくね。

C君：初めまして、Cです。よろしくお願いします。

筆者：C君は今何歳で、どこの小学校の何年生ですか？

C君：僕は今9歳です。現在西寧小学校の3年生です。

筆者：趣味と得意なことは何ですか？

C君：趣味はサッカー、得意なのはパソコンです。

筆者：得意なのはパソコンね、すごいね。

C君：そんなに得意でもないですが、いじるのが好きだから。

筆者：そうですか。この西寧ガンジェン教育培訓学校に通ってどれぐらいですか？

C君：2学期目です。

筆者：普通友達と何語で話してますか？

C君：漢語です。

筆者：そうですね、この補習学校に通わせたのは誰ですか？

C君：お父さんが応募したからここに通いました。

筆者：ここに以外の補習学校には通ってますか？

C君：ないです。

筆者：この学校に来るのは嫌ですか？

C君：嫌でもないです。

筆者：どうしてですか？

C君：授業が楽しいし友達も同じクラスだから、ここに通うのは嫌だと思っていないです。

筆者：そうですか、ありがとうね。

K君へのインタビュー

筆者：初めまして、ドルマです。よろしくね

K君：初めまして、Kです。

筆者：K君は今何歳で、どこの小学校の何年生ですか？

K君：僕は今8歳です。現在大通町小学校の3年生です。

筆者：趣味と得意なことは何ですか？

K君：テコンドーが趣味で、得意なものもテコンドーです。

筆者：そうですか。この西寧ガンジェン教育培訓学校に通ってどれぐらいですか？

K君：3学期目です。

筆者：そうですか。普通友達と何語で話してるの？

K君：漢語です。

筆者：そうですか、この補習学校に通わせたのは誰ですか？

K君：お父さんです。授業の感想については分からないお父さんが応募したからここに通いました。

筆者：ここに以外の補習学校には通ってますか？

K君：うん。テコンドーと英語の補習学校にも通っています。

筆者：大変だね、この学校に来るのは嫌ですか？

K君：嫌でもないです。

筆者：どうして？

K君：分からないです。

筆者：分かりました。ありがとうね。

G君へのインタビュー

筆者：初めまして、ドルマです。よろしくね

G君：初めまして、Gです。

筆者：G君は今何歳で、どこの小学校の何年生ですか？

G君：私は今 10 歳で現在南山路小学校の 4 年生です。

筆者：趣味と得意なことは何ですか？

G君：趣味はパソコンゲームです。得意なのは特にはないです。

筆者：そうですか。この西寧ガンジェン教育培訓学校に通ってどれぐらいですか？

G君：3 学期目です。

筆者：そうですか。普通友達と何語で話してるの？

G君：漢語です。

筆者：そうですか、この補習学校に通わせしたのは誰ですか？

G君：おじさんです。おじさんがチベット語ができないとよくないと言ってここに通わせました。

筆者：ここに以外の補習学校には通ってますか？

G君：うん。英語の補習学校にも通ってます。

筆者：そうですか、この学校に来るのは嫌ですか？

G君：嫌じゃないです。

筆者：どうしてですか？

G君：ここの授業は私が通っている英会話補習学校より楽だからです。

筆者：そうですか、英語難しいからね、ありがとう。

Q さんへのインタビュー

時間：2016 年 12 月 18 日（日）20 時 30 分から約 30 分（Q さん）Wechat（日本の LINE と同じでビデオ通話できるソフト）によるインタビューを行った。

筆者：久しぶり、ドルマです。元気？今時間大丈夫ですよ？

Q さん：久しぶり、時間大丈夫です。

筆者：今から最初から聞きますね。

Q さん：うん。

筆者：お名前はなんですか？

Q さん：Q です。

筆者：Q さんは今何歳で、どこの小学校の何年生ですか？

Q さん：私は今 14 歳で、西寧第三中学校の中学 2 年生歳です。

筆者：趣味と得意なことは何ですか？

Q さん：趣味は映画鑑賞で、得意なのはダンスです。

筆者：そうなんですか。この西寧ガンジェン教育培訓学校に通ってどれぐらいですか？

Q さん：4 学期目です。

筆者：そうですか。一年半ぐらいですね、

Q さん：はい。

筆者：普通友達と何語で話してるの？

Q さん：普通の学校では殆ど漢民族なので漢語です、チベット人の友達だとチベット語と漢語両方で話してます。

筆者：そうですか、この補習学校に通わせしたのは誰ですか？

Q さん：最初はお父さんに言われたのでここに通い始めた。

筆者：そうですか。ここに以外の補習学校には通ってますか？

Q さん：うん。英語の補習学校にも通ってます。

筆者：そうですか、今はこの学校で通い続けた一番長い生徒ですが。ここに来るのは嫌じ

やなかったでしょうか？

Qさん：嫌じゃなかったです。

筆者：どうしてですか？

Qさん：授業は楽しい、特に西寧市の「チベット人文化祭」などのイベントに参加できて、とても楽しかったです。

筆者：そうですね。良かったですね、この学校に今まで約2年間続けた理由はなんですか？

Qさん：毎週ここでチベット語を学ぶのは私にとってもう日常の当たり前なことになってたとの原因だと思います。家族みんなも私がチベット語を少し話せるようになったことを喜んでいるからです。

筆者：そうですね。この学校をいつまで続けるかは考えたことがありますか？

Qさん：私ももうすぐ高校受験で普通学校の学習も多いです。でも、ここはやっぱ、続けられるまで通いたいと家族も私もそう思っています。

筆者：Qさんすごいですね、これからも頑張ってね。

Qさん：うん。

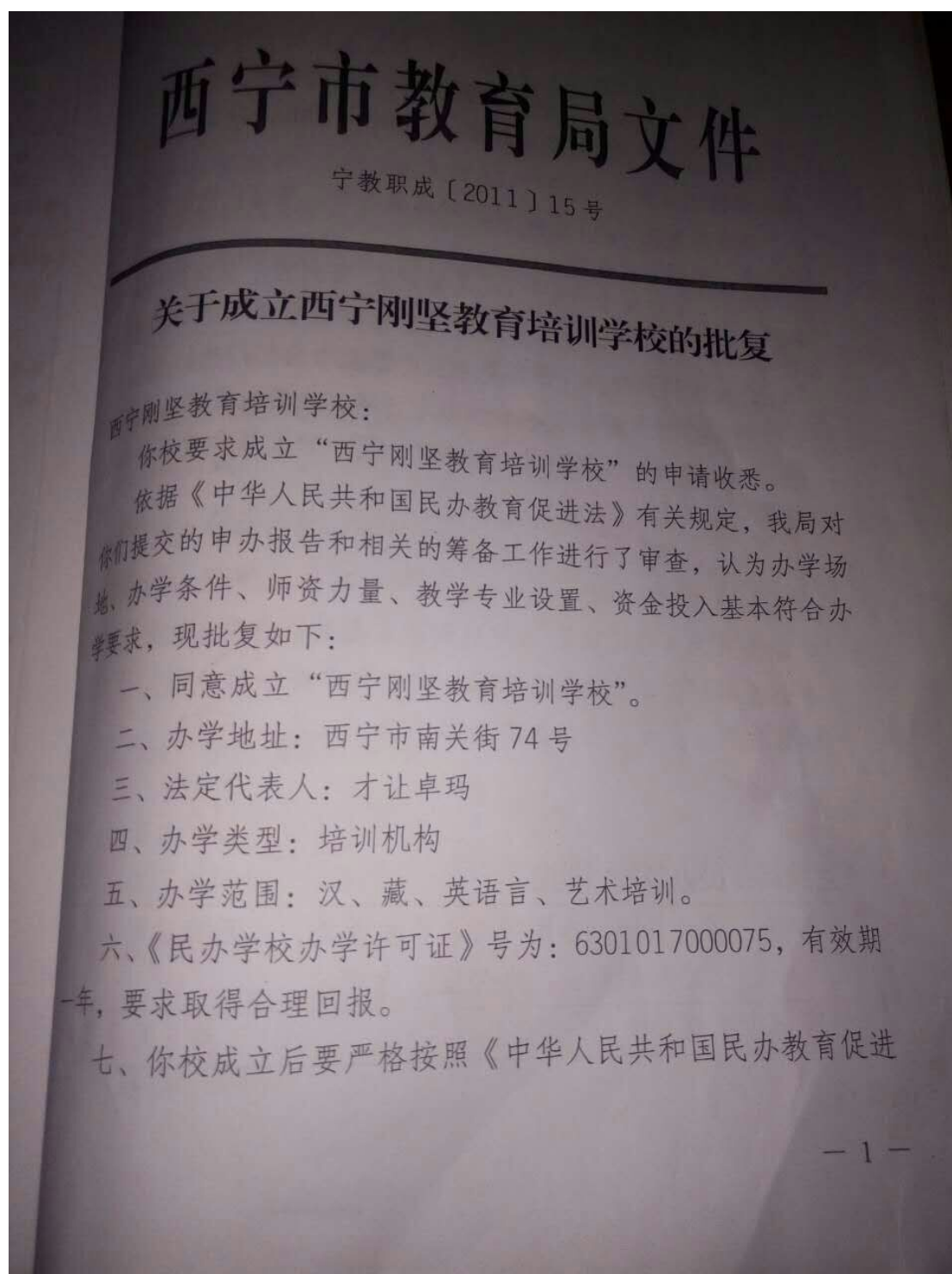
筆者：なんかあたらしいつでも連絡してね、インタビューありがとう。

Qさん：うん、分かりました。

(宿題などで忙しいそうだから、インタビューはこんな感じで終了させた)

付録 3

西寧市教育局に保されている「西寧ガンジェン教育培訓学校の設立許可についての審査文書」と日本語訳



法》的规定及国家和省、市政府的有关法律、法规开展教育教学活动，做到依法治教，依法办学，严格按照市教育局审批的办学地点和专业范围招生，主动接受各职能部门的监督管理。

八、学校要采用经国家相关部门审定的教材，要制定切实可行的教学计划，保证完成教学任务及教学质量，以取得良好的社会信誉。

学校要凭聘用有任职资格的财会人员，建立严格的财务管理制度，做到勤俭办学。

九、学校发布招生广告、《简章》，需到西宁市政府行政审批服务中心教育窗口领取并填写《青海省社会力量办学广告审批表》，经审核批准后，方可发布，严禁发布虚假广告。

十、学校如需变更校名、办学场所、主要负责人、办学内容等，应当报市教育局批准，到市民政局、市发展和改革委员会办理变更备案手续。

十一、接此批复后，请持批复及由市教育局颁发的《办学许可证》到省代码中心办理《组织机构代码证》、市民政局办理《民办非企业法人登记证》、市发展和改革委员会办理《收费许可证》、市公安局刻制办公及财务印章、在指定青海银行分理处开立基本结算账户后，方可开展教育教学活动。

此复。

二〇一一年四月二十六日

主题词：民办学校 批复

抄送：省教育厅，市民政局、市发改委，本局薛建华局长、王光献副局长、办公室，存档。

西宁市教育局

2011年5月3日印发

共印15份

出典： 筆者が西寧ガンジェン教育培訓学校で撮影

西寧市教育局文書

寧教職成（2011）15 号

西寧ガンジェン培訓学校の設立に関する返答文書

西寧ガンジェン培訓学校：

提出した「西寧ガンジェン培訓学校」を設立する申請書報告を受け。

提出した申請報告について、我が局が「中華人民共和国国民営教育促進法」の規定を基準とし、審査を行った。結果として、学校の敷地、教員、資金の投入、専門の設定などにおいて「中華人民共和国国民営教育促進法」の要求にかなうため、以下のように返答した。

一、「西寧ガンジェン教育培訓学校」の設立を同意する。

二、学校所在地：西寧市南関町 74 号

三、法人代表：才让卓瑪

四、学校類型：培訓機構

五、運営範囲：漢語、チベット語、英語、芸術培訓。

六、「民営学校設立許可証」番号：63010117000075、有効期限一年、合理的利益取得を許可する。

七、設立以後「中華人民共和国国民営教育促進法」の規定及び国家、省、市の法律を守り、この法律らの許可範囲で学校を運営し、また、積極的に政府の監督、管理を受ける。

八、学校のカリキュラムにおいて、国の関連機関の審査を受けたカリキュラムを使用し、カリキュラムの内容を計画の時間通りに教える。

学校は会計の専門資格を持つ人を採用し、財務管理を明確にする。

九、学校の生徒募集コマーシャル、「生徒募集要項」について、西寧市政府行政審査サービスセンターで「青海省社会力量办学コマーシャル審査表」を記入し、許可が得た以後公布する。不実なコマーシャルを禁止する。

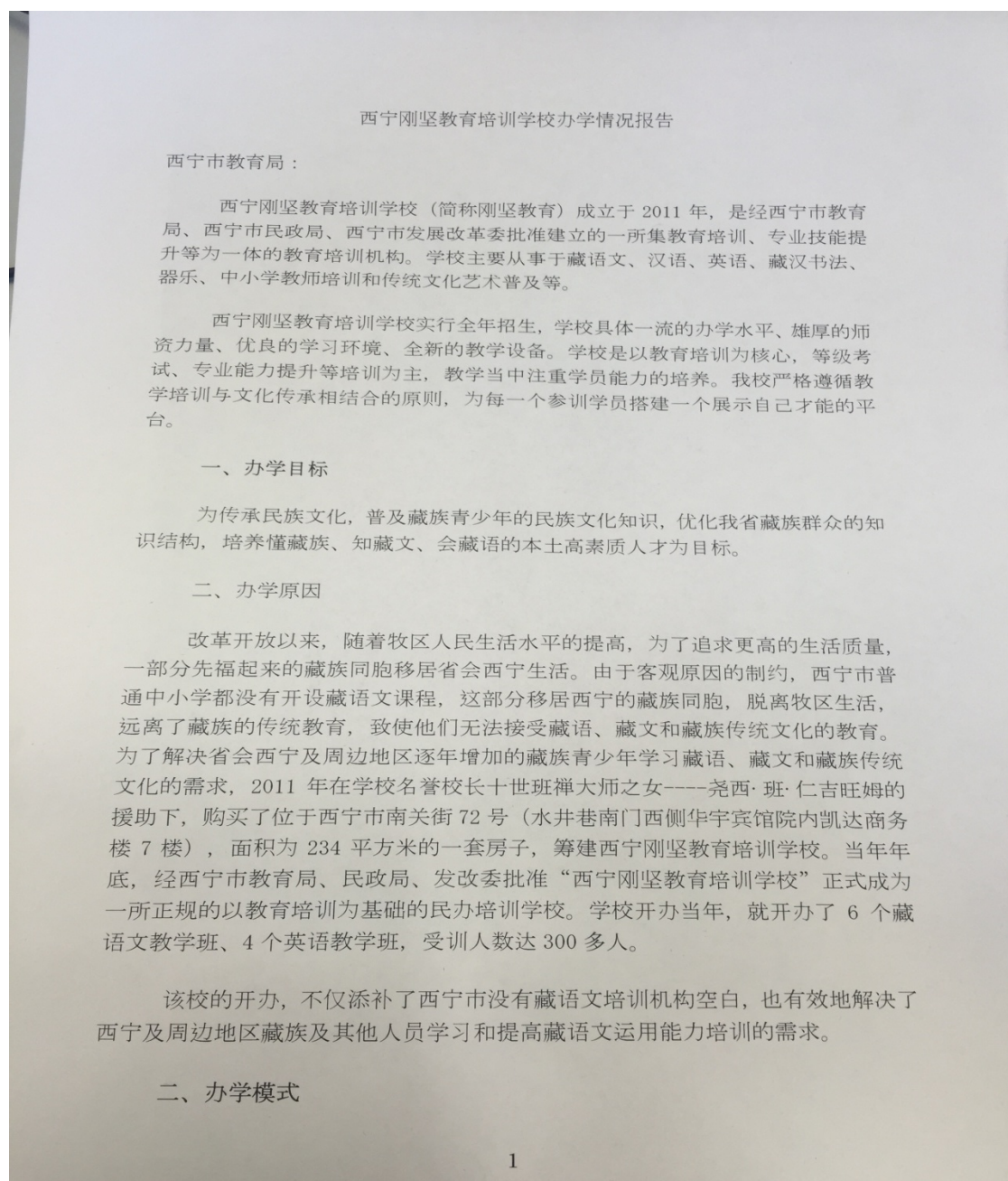
十、学校の名前、所在地、責任者、教育内容を変更する場合、教育局に申請し、市民政局、市発展改革委員会に変更手続きを提出する。

十一、本返答文書を受け取った後、本局が授与した「運営許可証」を持ち、省コード番号センターで「組織機構コード番号証」を作成、市民政局で「民営非企業法人登録証」を作成、市発展改革委員会で「取費許可証」を作成し、市交番局で事務、財務の印鑑を作成し、指定された青海銀行で決算を行った以後から、学校の運営が始まる。

二〇一一年四月二十六日

付録 4

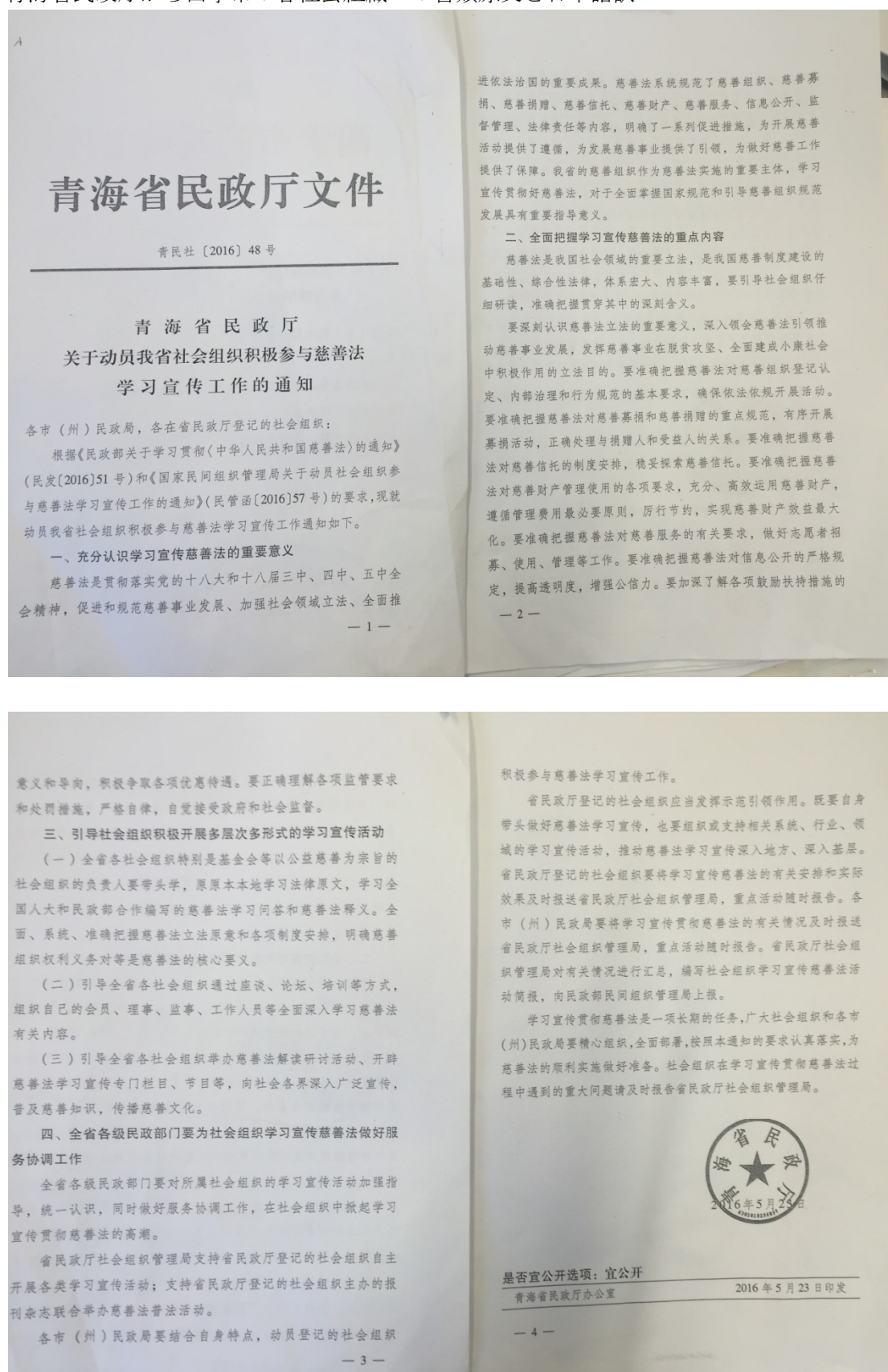
西寧ガンジェン教育培訓學校が西寧市教育局に出した「西寧ガンジェン教育培訓學校の現状報告」においての学校の運営目標の部分の日本語訳の原文。



（注：办学目标」部分の日本語訳。学校の運営目標は民族文化を伝承し、チベット民族の青少年たちに民族文化知識を普及し、我が省のチベット民族の知識構成を向上させ、チベット民族を知り、チベット文化を理解できる人材の育成である。）

付録 5

青海省民政庁から西寧市の各社会組織への書類原文と日本語訳



出典： 筆者が西寧ガンジェン教育培訓学校で撮影

青海省民政庁文件

青民社〔2016〕48号

青海省民政庁

我が省の社会組織が積極的に慈善法の学習と宣伝を行うことについての通知

各市（州）民政局、各省民政局に登録した社会組織：

『民政部関与学習貫徹「中華人民共和國慈善法」の通知』（民発〔2016〕51号）と『国家民間組織管理局関与社会組織が積極的に慈善法の学習と宣伝を行うことについての通知』（民管函〔2016〕57号）の要求に基づいて、現在、我が省の社会組織が積極的に慈善法の学習と宣伝を行うことについての通知は以下である

一、十分に慈善法の重要な意義を認識し、学習をする。

慈善法は党の十八期全国代表大会と十八期中央委員会の第三次、四次、五次全体会議の主旨を実行し、慈善事業を発展規範する。社会の法律設定を強化し、法律に基づき国家統治の成果を推進させる。慈善法では、慈善の募金、寄付、信託、サービス、と情報の公表、監督管理、法律責任などについて規範を定めている。慈善法は慈善活動のよりどころとなる規則を制定し、慈善事業の発展をリードさせ、慈善活動に法的保障を提供したのである。我が省の慈善組織は慈善法実施の重要な主体として、慈善法を学習し貫徹するのが、国家の法律規範を把握し、慈善事業を発展させるには重要な指導意義がある。

二、慈善法の重要な内容を把握し、宣伝する。

慈善法はわが国の社会領域において重要な法律であり、わが国の慈善制度建設の基礎的、総合的な法律である。社会組織として、慈善法の内容を正確に把握し、貫くべきである。

慈善法の慈善事業の発展における役割を認識する。慈善法の最終的な目標は慈善事業による貧困状態からの抜け出し、ややゆとりのある社会の建設であることを悟る。慈善法において、慈善組織の登録、認定、内部管理と行為準則の基準を把握する。法律に基づいて慈善活動を行うことを保障する。慈善法の募金と寄付についての規範を把握し、寄付するほうと受益するほうに關係を適当に処理する。慈善法における慈善信託についての制度を把握し、慈善信託を探究する。慈善法における慈善財政の管理、使用についての各条件を把握し、存分、効率的に慈善財政を運用し、費用管理の最必要原則と儉約励行により、慈善財政の利益最大化を実現させる。慈善法における慈善サービスについての要求を把握し、ボランティアの募集、使用、管理などの業務を。慈善法における情報公表についての規定を把握し、慈善事業の透明化することにより、社会からの信頼度を上げる。国の各奨励、救護措置の意義を知り、積極的に各優遇待遇を勝ち取る。各監督管理の要求と処罰措置を正確に理解する。厳格に自律し、積極的に政府、社会の監督を受ける。

三、社会組織に各レベル、各形式の学習、宣伝活動することを導く。

全省の各社会組織、特に基金など公益慈善を宗旨とする社会組織の責任者は先頭を切って学ぶ。慈善法原文のほかに全国人民代表大会、民政部民政部が共同編纂した慈善法の学習問答と解釈を学び、全面、系統的に慈善法意味を理解し、慈善組織において権利と義務のバランスを保つのは中核であることを明確にする。

四、全省の各級民政部門は社会組織の慈善法の学習と宣伝に協力する。

各省各級民政部門は所属する社会組織の学習、宣伝活動を指導し、協力する。社会組織に慈善法学習のブームを湧き起こさせる。

省民政庁社会組織管理局は省民政部に登録している社会組織の自主的に行う各級の学習、宣伝活動を支持する。省民政部に登録している社会組織の新聞、雑誌の発行を支持し、共に慈善法の普及活動を行う。

各市（州）民政局は自身の特徴により、登録している社会組織を積極的に慈善法学習、宣伝の活動に参加するように働きかける。

省民政庁に登録している社会組織は模範として、自身が慈善法の学習、宣伝をする以外、関連する業界、分野の慈善法の学習、宣伝活動を支援する。省民政局に登録している社会組織は慈善法の学習、宣伝についてのスケジュールと実行後の効果のデータ、資料は直ちに省民政庁社会組織管理局に送り、重大な活動は常に報告する。各市（州）民政局は、慈善法の宣伝状況を直ちに省民政庁社会組織管理局に送り、重大な活動は常に報告する。省民政庁社会組織管理局は状況をまとめ、社会組織の慈善法学習、宣伝についてのニュースダイジェストを造り、民政部民間組織管理局に報告する。

慈善法の学習、宣伝は長期的な任務であるため、各社会組織、市（州）民政局は全体的配置し、本通知に基づいて慈善法を実施することを準備する。社会組織が慈善法の学習、宣伝において、発生した重大な問題は直ちに省民政庁社会組織管理局に報告する。

公表の是否選択：公表
青海省民政庁事務室

2016 年 5 月 23 日 発行

（注：民政庁は民間組織の管理する役割もあるため、政府の許可取り、登録して民間組織であれば、定期的に民政庁からこのような公文書を発送される。また、青海省民政庁から西寧市の各社会組織へ発想した慈善法の内容は主に、寄付金の募集、管理などについてである。

付録 6

2015 年「西寧市民營教育機関リスト」 約内容：

民営教育機関の運営を規範し、保護者、生徒の権利を保障し、正規の学校で教育が受けられるため、西寧市教育局、西寧市民政局、西寧市発展改革委員会が「中華人民共和国民営教育促進法」をもとに、設立申請した各民営教育機関に審査を行った。現在、許可されている 98 校の民営教育機関のリストを公布する。

(注：最初の部分では 98 校と明記しているが、リストでは 99 校だった。上の部分はミスだと考えるが、ここでは、原文のように訳した。なお、本リストの 71 番は西寧ギャエン教育培訓学校である。)

以下は原文である。

民办教育

西寧市民办教育机构名单公示

2015-07-14

来源西寧市教育局

为规范民办教育机构办学行为，净化民办教育市场，促进民办教育健康发展，满足人民群众对教育多层次、多样化需求，保障家长和学生的合法权益，确保学生能够接受正规的、高质量的教育服务，西寧市教育局、西寧市民政局、西寧市发展和改革委员会依据《中华人民共和国民办教育促进法》有关规定，组织专家组按照严格的设置审批程序对申请设立的民办教育单位进行了检查复审，现将联合审批注册、且具有办学行为的学历教育、学科及艺术类培训等 98 家民办教育单位予以公示，欢迎社会各界、广大人民群众、学生及家长给予监督。

监督电话：0971-4318245、4393011

温馨提示：有教育需求的家长和学生，应选择到合法注册、有办学资质的民办教育机构参加培训学习！

2015 年 7 月 14 日

西寧市民办教育机构名单

序号单位名称	地址	备注
1 西寧市第一私立高级中学	西寧市城中区香格里拉路 13 号	学历机构
2 江苏省沛县中学西寧分校	西寧市城中区南川东路 85 号	学历机构
3 西寧市西建中英文学校	西寧市城西区虎台 3 巷 76 号	学历机构
4 西寧市国灵中学	西寧市城中区南川西路 158 号	学历机构
5 西寧市三源公学	西寧市城东区八一中路 4 号	学历机构
6 西寧市博士园私立高中	西寧市城北区小桥大街建北巷	学历机构
7 青海师范大学思源中学	西寧市城西区五四西路 38 号	学历机构
8 青海省五四中学	西寧市城中区南川西路 137 号	学历机构
9 西寧湟川双语国际学校	青海湟川中学文丰楼一层	学历机构
10 西寧市西钢职业技术学校	西寧市城北区柴达木西路 52 号	学历机构
11 西寧泰宁儿童潜能开发中心	西寧市城东区康乐西路附 5 号	培训机构
12 西寧市英才学校	西寧市城中区南川西路 27 号	培训机构
13 西寧市睿智教育培训中心	西寧市城中区华德花园广场 C 区	培训机构
14 西寧市少年宫杰瑞国际语言文化交流中心	西寧市城中区解放路 4 号	培训机构
15 西寧市新里程杰瑞国际语言文化交流中心	西寧市城中区解放路 4 号	培训机构

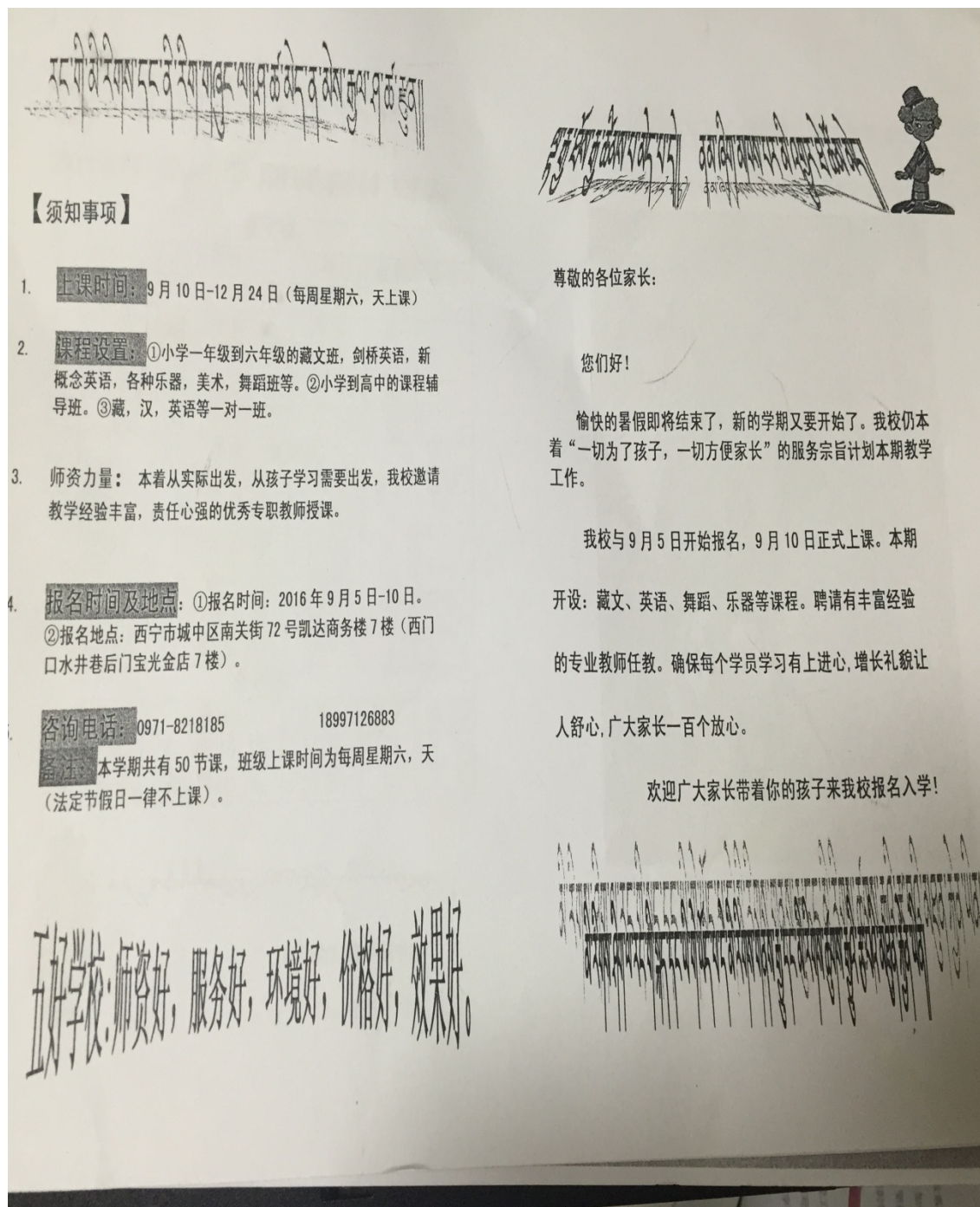
16 西宁市启扬文化培训中心	西宁市城西区冷湖路 2 号杰森大厦	培训机构
17 西宁绿荫教育培训学校	西宁市城西区冷湖路 2 号杰森大厦	培训机构
18 西宁市学而知文化培训学校	西宁市城西区纸坊街医药公司对面	培训机构
19 西宁新禾文化培训学校	西宁市城中区南大街 106 号	培训机构
20 西宁西部文化发展中心	西宁市城东区互助中路 276 号	培训机构
21 西宁市润智教育培训学校	西宁市城东区青藏铁路花园小区	培训机构
22 西宁东方儿童中心	西宁市城西区交通巷 9 号	培训机构
23 西宁市继续教育人才培训中心	西宁市城西区胜利路 5 号	培训机构
24 西宁市成才文化培训学校	西宁市城中区北大街商贸大厦	培训机构
25 西宁市海湖文化培训学校	西宁市城西区五四西路学府巷 37 号	培训机构
26 西宁市齐翔文化辅导学校	西宁城西区五四大街 37 号	培训机构
27 西宁市智易方教育培训学校	西宁城西区五四大街 37 号	培训机构
28 青海省高教学会文化艺术学校	西宁市城西区微波巷 6 号	培训机构
29 青海省图书馆培训中心	西宁市城西区西关大街 66 号	培训机构
30 西宁市清华工商管理培训中心	西宁市城西区五四大街 70 号	培训机构
31 西宁中公教育学校	西宁市城中区南大街 18 号锦园大厦	培训机构
32 西宁市学生经典导读中心	西宁市城中区为民巷 17 号	培训机构
33 西宁理科王培训学校	西宁城西区西关大街 49 号	培训机构
34 西宁神墨教育培训学校	西宁市城东区八一路半岛步行街 18 号	培训机构
35 新方向素质教育学校	西宁市城西区新宁路 28 号	培训机构
36 青海省科学技术教育培训中心	西宁市城西区微波巷 7 号	培训机构
37 西宁蓝天中英文培训学校	西宁市城东区八一东路 33 号	培训机构
38 西宁市锐灵业余英语培训学校	西宁市城北区门源路 35 号	培训机构
39 西宁市学科竞赛提高班	西宁市城中区解放路 4 号	培训机构
40 东方亲子西宁儿童教育中心	西宁市城东区七一路 348 号	培训机构
41 西宁翰林文化培训学校	西宁市城中区西大街神力大厦 A 座	培训机构
42 西宁宏图培训中心	西宁市城南新区园丁路 28 号	培训机构
43 西宁市阿拉丁教育培训学校	西宁市城中区南山路鸣翠柳 A 座	培训机构
44 西宁市爱乐艺术培训学校	西宁市城中区砖厂路 45 号	培训机构
45 西宁克莱德曼音乐艺术学校	西宁市城东区花园北街 20 号	培训机构
46 西宁市海伦英语培训学校	西宁市城西区新宁路 32 号	培训机构
47 西宁市知墨堂少儿书法艺术学校	西宁市城中区解放路 4 号	培训机构
48 清华少儿英语西宁服务中心	西宁市城西区昆仑西路 37 新 1 号	培训机构
49 西宁市新希望教育培训学校	西宁市城东区南大街农建巷 1 号	培训机构
50 西宁市新航线培训学校	西宁市城西区西关大街 46 号慈润大厦	培训机构
51 西宁市新概念外国语学校	西宁市城西区西关大街 46 号滋润大厦	培训机构
52 西宁远洋国际外语培训学校	西宁市城西区西关大街 46 号慈润大厦	培训机构
53 西宁市力迈国际学校	西宁市城中区法院街 20 号	培训机构
54 西宁市快乐多文化艺术英语培训中心	西宁市城中区人民街泰兴楼	培训机构
55 西宁市萨博教育培训学校	西宁市城西区西关大街 16 号	培训机构
56 西宁海扬教育培训中心	西宁市城西区虎台三巷 76 号	培训机构
57 西宁市瀚霄文化培训学校	西宁市城中区昆仑中路丽景苑	培训机构
58 西宁市华音艺术培训学校	西宁市城中区长江路 114 号	培训机构
59 西宁少儿外语艺术业余培训学校	西宁市城北区小桥大街 7 号	培训机构

60	西宁市环球雅思外国语学校	西宁市城东区七一路 348 号	培训机构
61	西宁市艺海青少年外语艺术培训学校	西宁市城中区南山中路建新巷	培训机构
62	西宁市新华外国语学校	西宁市城东区八一中路 3 号	培训机构
63	西宁市少儿智能开发培训中心	西宁市城东区胜利巷 43 号	培训机构
64	西宁外国语学校	西宁市城中区西大街 2 号兴旺大厦	培训机构
65	西宁市纽斯达英语培训中心	西宁市城中区体育馆东翼楼	培训机构
66	西宁市洪恩儿童英语培训学校	西宁市城西区胜利路农牧大厦	培训机构
67	西宁阿斯顿国际英语学校	西宁市城中区南山路 16 号	培训机构
68	西宁欧文汉思国际教育学校	西宁市城中区长江路创新大厦	培训机构
69	西宁市瑞邦外语学校	西宁市城东区花园南街 62 号	培训机构
70	西宁新星外语培训学校	西宁市城西区昆仑路 46 号	培训机构
71	西宁刚坚教育培训学校	西宁市城中区南关街 72 号	培训机构
72	西宁市哆咪咪音乐培训学校	西宁市城西区黄河路游园巷	培训机构
73	西宁知音少儿艺术培训学校	西宁市城西区西关大街红房巷	培训机构
74	西宁市银银电子琴艺术培训学校	西宁市城中区解放路 5 号	培训机构
75	西宁市牧笛艺术学校	西宁市城中区解放路 5 号	培训机构
76	西宁市彩虹艺术学校	西宁市城中区西大街 18 号	培训机构
77	西宁市华巍现代音乐艺术学校	西宁市城西区黄河路 29 号麒麟湾商街	培训机构
78	西宁蓝天家教教育培训学校	西宁市城西区海晏路 6 号	培训机构
79	西宁明日之星培训中心	西宁市城东区七一路 22 号	培训机构
80	西宁易知英语培训学校	西宁市城中区世贸大厦	培训机构
81	西宁市金喇叭管乐艺术培训学校	西宁市城中区砖厂路 45 号	培训机构
82	西宁市百特教育培训中心	西宁市城东区七一小区 1-1 号	培训机构
83	西宁市三人行文化培训学校	西宁市城西区西关大街 16 号	培训机构
84	西宁市新思路文化培训学校	西宁市城东区东关大街 127 号	培训机构
85	西宁嘉城外语教学中心	西宁市城北区小桥大街 32 号	培训机构
86	西宁智源教育培训学校	西宁市城中区西大街 43 号	培训机构
87	西宁黄冈学路培训学校	西宁市城中区西大街 43 号	培训机构
88	西宁市新梦想培训学校	西宁市城北区门源路 16 号	培训机构
89	西宁北辰文化艺术培训学校	西宁市城北区小桥大街 22 号	培训机构
90	西宁国际教育学校	西宁市城西区冷湖路 12 号	培训机构
91	北京四中网校西宁分校	西宁市城西区昆仑路 24 号	培训机构
92	西宁学大教育培训学校	西宁市城中区夏都大街 225 号	培训机构
93	西宁艺术剧院艺术培训学校	西宁市城东区七一路 26 号	培训机构
94	西宁齐林文化艺术学校	西宁市城西区黄河路 29 号麒麟湾商街	培训机构
95	西宁高博文化艺术培训学校	西宁市城西区文苑大街 12 号	培训机构
96	西宁星梦教育培训学校	西宁市城东区共和南路 23 号	培训机构
97	西宁市指南针教育培训学校	西宁市城中区南关街 72 号	培训机构
98	西宁市博慧教育培训学校	西宁市城西区五四大街 18 号	培训机构
99	北京联想培训学校西宁分校	西宁市城中区七一路 461 号	培训机构

出典：中国青海省西寧教育網 www.xnedu.cn より転載

付録 7

西寧ガンジェン教育培訓学校の 2016 年土日学生募集チラシと日本語訳



出典：2016年11月12日論者が撮影

注意事項

「自分の民族さえ愛せない人は、その国を愛することはできない。」

授業開始時間：9月10日ー12月24日（毎週土日曜日）

授業の制定：①小学校一年生から6年生のチベット語クラス。剑桥英語、新概念英語、各楽器、美術、ダンスクラス。②小学校から高校の補習クラス。③チベット語、漢語、英語の一对一のクラス。

教師：学生の現状と需要を重視し、経験ある教師が授業を行う。

応募時間、場所：①時間：2016年9月5日ー10日

②西寧市城中区南関町72番カイダ事務室7階

電話番号：0971-8218185

注：本学葉の授業数は50コマで、授業時間は毎週土日曜日である。

（法定休日は休みである）

「好奇心は、知識を増やすことの始まりである。」

保護者へ：

楽しい夏休みが終わり、新学期が始まりました。我が校は「すべて子供のため、すべて保護者優先」をサービス理念とした新学期計画を立て終わっている。

本学葉は9月5日から募集し、9月10日より始まる。本学葉はチベット語クラス、英語クラス、ダンスクラスと各楽器のクラスが制定し、経験ある教師を招いている。学生の成績を向上させ、保護者から信頼される教育を行う。

皆様の応募をこころよりお待ちしております

謝辞

本論文の作成に当たり、指導教員である荒井先生に多くのご助言、ご指導と励ましをいただいたお陰で、拙いながらもこのような論文にまとめることができました。心から感謝いたします。

また、教育学研究室の諸先生方、諸先輩方からもご協力を頂くことで、何とか論文という形にすることができました。本当にありがとうございました。

本研究の対象である西寧ガンジェン教育培訓学校の先生方と生徒皆様の全面的なご協力を頂きましき。深くお礼を申し上げます。

最後に、ずっと応援してくれている家族に感謝いたします。

ここでお礼を申し上げられなかった多くの方々も含め、ご協力、励ましを頂きました。

この論文を完成できたのは、皆様のお陰です。重ねてお礼を申し上げます

先吉卓瑪

2017年1月10日